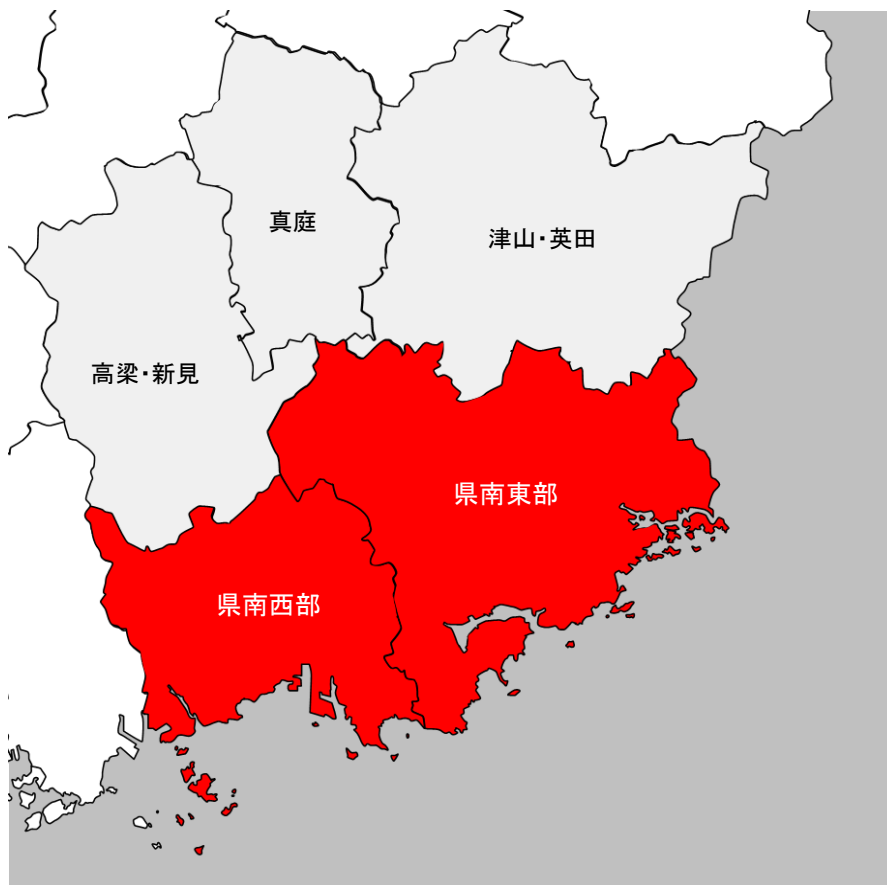


33. 岡山県

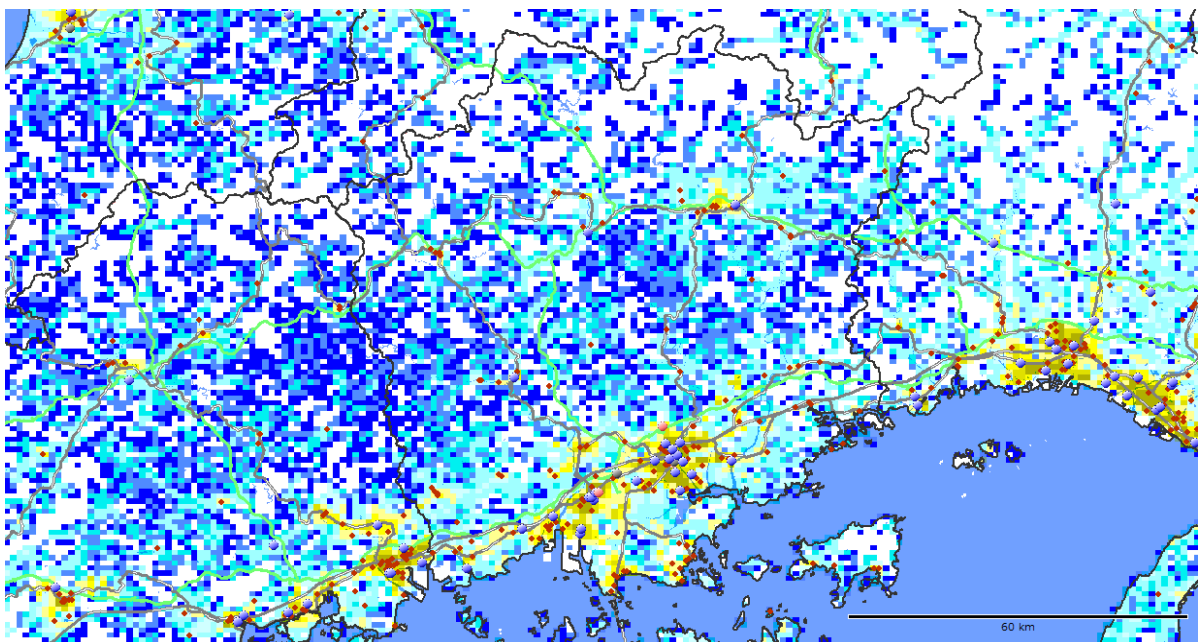


目次

岡山県	33	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	33	-	8
1. 県南東部医療圏	33	-	20
2. 県南西部医療圏	33	-	25
3. 高梁・新見医療圏	33	-	30
4. 真庭医療圏	33	-	35
5. 津山・英田医療圏	33	-	40

33. 岡山県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(岡山県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 岡山県は、総人口約1922千人(2015年)、面積7107km²、人口密度は270人/km²である。

*人口の将来予測： 岡山県の総人口は2025年に1811千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に1611千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の269千人が、2025年にかけて346千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には328千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 岡山県の一人当たり医療費(国保)は400千円(偏差値63)、介護給付費は281千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 岡山県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.28、一人当たり慢性期医療密度指数²は1で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が56(病院医師数57、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 岡山県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、31163人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が18225床(偏差値55)、高齢者住宅等が12938床(偏差値54)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、25139人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム49、軽費ホーム60、グループホーム61、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、2806人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

岡山県の総人口は、2005年1957264人が、2015年に1921525人と2%減少し、2025年の人口が1811274人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

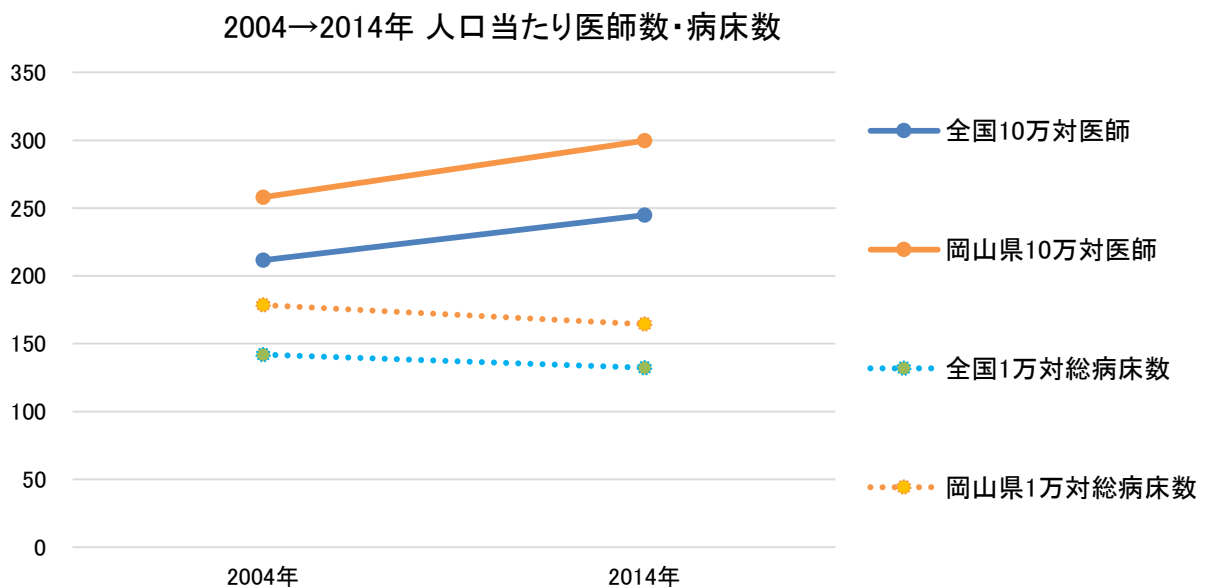
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が185(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に167(人口10万人当たり8.7病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で18病院が減少した。

2004年の診療所数が1624(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に1653(人口10万人当たり86診療所(全国平均79)偏差値54)と、29診療所が増加した。

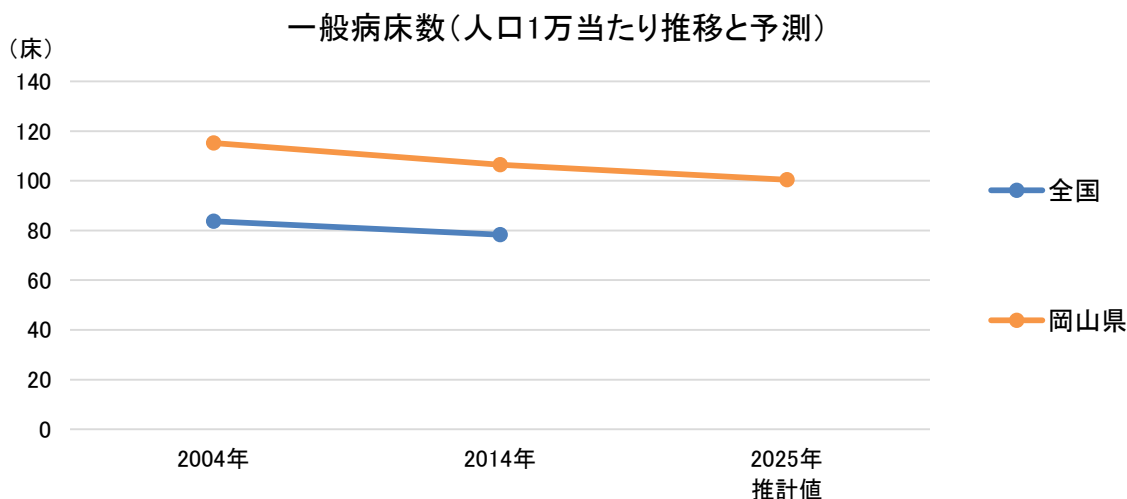
2004年の総病床数が34944床(人口1万人当たり179(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に31601床(人口1万人当たり164(全国平均132)偏差値56)と、3343床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が5051人(人口10万人当たり258人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に5760人(人口10万人当たり300人(全国平均245人)偏差値56)と、709人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



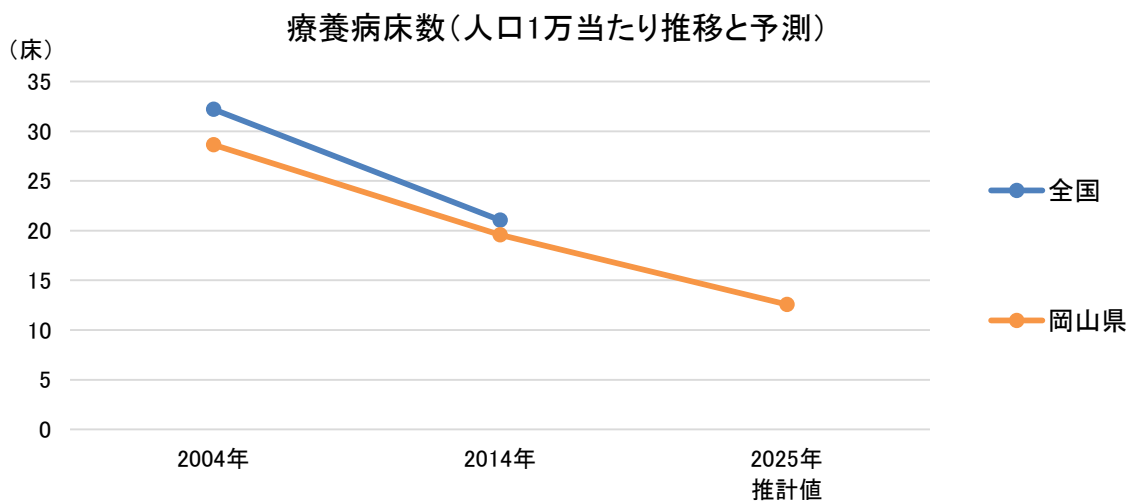
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が22540床(人口1万人当たり115(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に20463床(人口1万人当たり106(全国平均78)偏差値60)と、2077床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には18179床(2025年の推計人口1万人当たり100)になることが予想される。



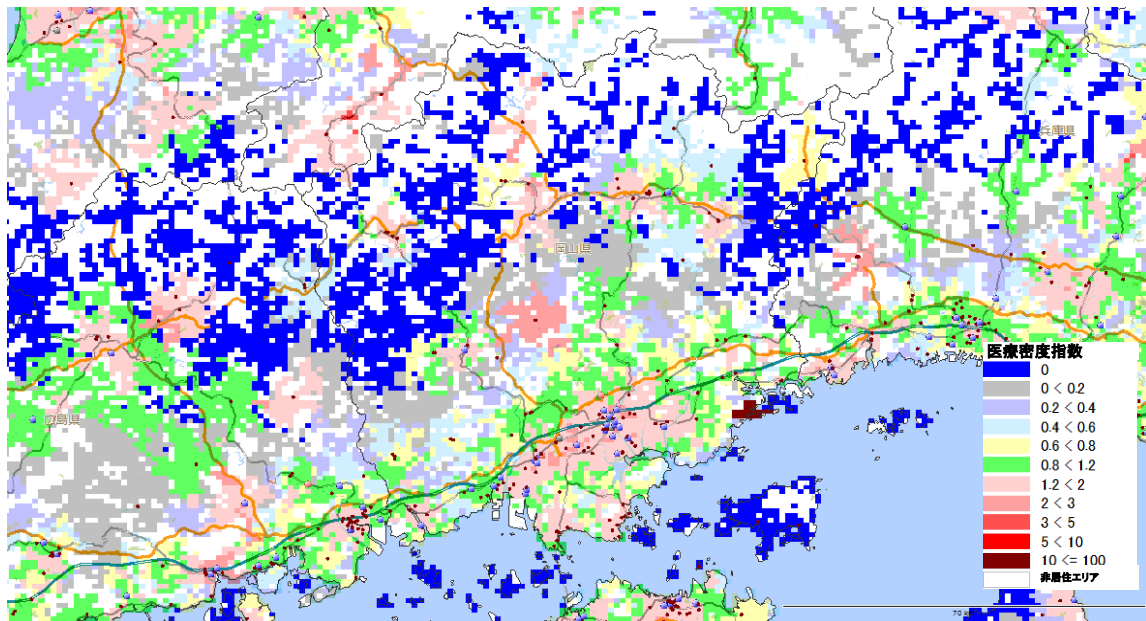
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6112床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に5273床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、839床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4350床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



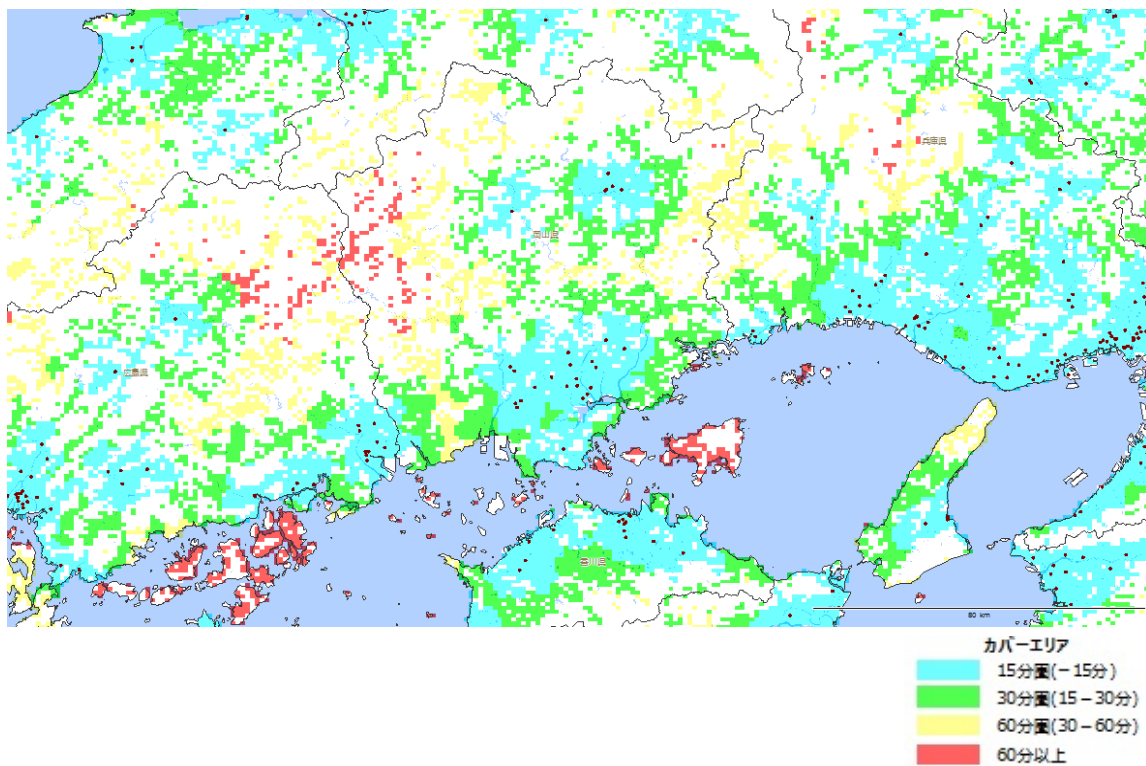
(岡山県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表33-1 急性期医療密度指数マップ



図表33-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 33-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
岡山県	1,922	20位	7,107	17位	270.4		28%	1,811	1,611	269	346	328	-6%	-11%	29%	-5%
県南東部	922	48%	1,900	27%	485.4	地方都市型	27%	879	797	119	157	153	-5%	-9%	32%	-3%
県南西部	707	37%	1,124	16%	629.2	地方都市型	28%	674	603	94	130	121	-5%	-11%	38%	-7%
高梁・新見	63	3%	1,340	19%	46.8	過疎地域型	38%	54	42	15	14	12	-14%	-22%	-7%	-14%
真庭	47	2%	896	13%	52.5	過疎地域型	37%	41	33	10	10	9	-13%	-20%	0%	-10%
津山・英田	182	9%	1,848	26%	98.7	過疎地域型	32%	163	136	32	35	32	-10%	-17%	9%	-9%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 33-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
岡山県	1.28	1.00	27,895	28,150	-0.9%
県南東部	1.51	1.14	12,417	12,771	-2.9%
県南西部	1.17	2.03	9,629	10,546	-9.5%
高梁・新見	0.64	1.62	1,352	1,150	14.9%
真庭	0.97	1.55	1,008	843	16.4%
津山・英田	0.89	1.40	3,489	2,840	18.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 33-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
岡山県	400	63	1.107	161	60	1.179	211	62	1.062	281	58
県南東部	397	62	1.119	158	59	1.176	210	62	1.079	280	58
県南西部	394	61	1.075	157	59	1.132	209	61	1.038	268	54
高梁・新見	456	75	1.162	205	75	1.370	226	70	1.048	312	67
真庭	388	60	1.023	166	62	1.149	198	55	0.950	291	61
津山・英田	424	68	1.148	176	65	1.251	221	68	1.091	312	67

出典 <一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省
<一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報)
平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)

※後期高齢者の医療費については、資_図表33-35を参照。

資_図表 33-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岡山県	164	1.9%	8.5	55	1,659	1.6%	86	54
県南東部	77	47%	8.4	54	871	53%	94	58
県南西部	53	32%	7.5	52	512	31%	72	46
高梁・新見	9	5%	14.3	69	65	4%	104	63
真庭	7	4%	14.9	70	45	3%	96	59
津山・英田	18	11%	9.9	58	166	10%	91	56

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 33-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岡山県	1,659	1.6%	86	54	1,492	1.6%	78	52	167	2.1%	8.7	54
県南東部	871	53%	94	58	791	53%	86	57	80	48%	8.7	54
県南西部	512	31%	72	46	457	31%	65	45	55	33%	7.8	52
高梁・新見	65	4%	104	63	60	4%	96	62	5	3%	8.0	53
真庭	45	3%	96	59	40	3%	85	56	5	3%	10.6	57
津山・英田	166	10%	91	56	144	10%	79	53	22	13%	12.1	59

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 33-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
岡山県	28,813	1.8%	1,499	55	2,448	2.3%	127	54	31,261	1.9%	1,627	56
県南東部	14,730	51%	1,598	57	1,165	48%	126	54	15,895	51%	1,724	57
県南西部	9,736	34%	1,376	53	805	33%	114	53	10,541	34%	1,490	53
高梁・新見	1,023	4%	1,631	58	63	3%	100	52	1,086	3%	1,731	57
真庭	797	3%	1,696	59	82	3%	175	59	879	3%	1,871	60
津山・英田	2,527	9%	1,385	53	333	14%	183	60	2,860	9%	1,568	55
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 33-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
岡山県	18,321	2.0%	953	61	4,722	1.4%	246	49	5,608	1.7%	292	51
県南東部	9,822	54%	1,065	66	1,652	35%	179	46	3,167	56%	344	54
県南西部	6,494	35%	918	59	1,812	38%	256	50	1,395	25%	197	47
高梁・新見	434	2%	692	49	349	7%	556	64	240	4%	383	55
真庭	425	2%	904	59	172	4%	366	55	200	4%	426	57
津山・英田	1,146	6%	628	47	737	16%	404	57	606	11%	332	53
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 33-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
岡山県	1,241	1.7%	65	51	1,683	2.7%	88	55
県南東部	536	43%	58	50	635	38%	69	52
県南西部	602	49%	85	56	669	40%	95	56
高梁・新見	0	0%	0	38	111	7%	177	71
真庭	0	0%	0	38	112	7%	238	82
津山・英田	103	8%	56	50	156	9%	86	55
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 33-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
岡山県	11,129	8,552	807	17,650	9,769	3,917	46.7%	48	17.1%	53
県南東部	7,848	6,202	277	6,876	3,618	1,377	63.2%	55	16.7%	53
県南西部	2,912	2,158	353	6,826	4,338	1,459	33.2%	42	19.5%	55
高梁・新見	96	54	42	927	380	307	12.4%	34	12.0%	51
真庭	105	50	55	662	375	117	11.8%	33	32.0%	60
津山・英田	168	88	80	2,359	1,058	657	7.7%	32	10.9%	51
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 33-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
岡山県	44,088	1.6%	2,294	51	17,472	1.7%	909	54
県南東部	24,192	55%	2,624	54	8,916	51%	967	56
県南西部	16,848	38%	2,382	52	6,348	36%	897	53
高梁・新見	180	0%	287	31	108	1%	172	28
真庭	312	1%	664	35	300	2%	638	44
津山・英田	2,556	6%	1,401	42	1,800	10%	987	56
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 33-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
岡山県	6,209	1.8%	323	56	4,064	1.9%	211	57	2,145	1.6%	112	53
県南東部	3,336	54%	362	60	2,155	53%	234	60	1,181	55%	128	58
県南西部	2,182	35%	308	54	1,514	37%	214	57	668	31%	94	47
高梁・新見	132	2%	210	43	77	2%	122	43	55	3%	88	45
真庭	112	2%	237	46	63	2%	134	45	49	2%	104	50
津山・英田	448	7%	245	47	255	6%	140	46	193	9%	106	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 33-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	小児科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	産婦人科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
岡山県	333	2.1%	17.3	58	243	1.9%	12.6	56	176	1.7%	9.2	53
県南東部	198	59%	21.5	64	153	63%	16.6	65	107	61%	11.6	59
県南西部	115	35%	16.3	56	73	30%	10.3	51	53	30%	7.5	48
高梁・新見	3	1%	4.8	38	4	2%	6.4	42	3	2%	4.8	41
真庭	3	1%	6.4	41	1	0%	2.1	33	2	1%	4.3	39
津山・英田	14	4%	7.7	43	12	5%	6.6	43	11	6%	6.0	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 33-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	眼科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	耳鼻咽喉科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
岡山県	79	1.5%	4.1	50	164	1.7%	8.5	54	136	1.8%	7.1	55
県南東部	52	66%	5.6	57	92	56%	10.0	58	80	59%	8.7	61
県南西部	23	29%	3.3	46	63	38%	8.9	55	46	34%	6.5	52
高梁・新見	1	1%	1.6	38	3	2%	4.8	42	2	1%	3.2	39
真庭	0	0%	0	30	1	1%	2.1	33	3	2%	6.4	52
津山・英田	3	4%	1.6	38	5	3%	2.7	35	5	4%	2.7	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 33-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科専門医数				外科専門医数				整形外科専門医数			
	精神科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	整形外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
岡山県	178	2.1%	9.3	58	371	1.8%	19.3	55	258	1.7%	13.4	53
県南東部	117	66%	12.7	68	219	59%	23.8	61	146	57%	15.8	58
県南西部	39	22%	5.5	47	123	33%	17.4	52	85	33%	12.0	50
高梁・新見	8	4%	12.8	68	5	1%	8.0	38	8	3%	12.8	51
真庭	1	1%	2.1	37	6	2%	12.8	45	5	2%	10.6	47
津山・英田	13	7%	7.1	52	18	5%	9.9	41	14	5%	7.7	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 33-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
岡山県	91	1.6%	4.7	51	109	1.7%	5.7	53	105	2.0%	5.5	54
県南東部	49	54%	5.3	54	65	60%	7.1	59	58	55%	6.3	57
県南西部	36	40%	5.1	53	32	29%	4.5	48	41	39%	5.8	56
高梁・新見	0	0%	0	28	3	3%	4.8	49	1	1%	1.6	41
真庭	1	1%	2.1	38	4	4%	8.5	65	0	0%	0	36
津山・英田	5	5%	2.7	41	5	5%	2.7	40	5	5%	2.7	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 33-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
岡山県	129	2.0%	6.7	55	27	1.8%	1.4	52	57	1.7%	3.0	52
県南東部	93	72%	10.1	66	16	59%	1.7	56	32	56%	3.5	55
県南西部	28	22%	4.0	46	10	37%	1.4	52	22	39%	3.1	53
高梁・新見	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
真庭	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
津山・英田	8	6%	4.4	47	1	4%	0.5	43	3	5%	1.6	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 33-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
岡山県	44	2.2%	2.3	56	60	2.5%	3.1	60
県南東部	25	57%	2.7	60	30	50%	3.3	61
県南西部	16	36%	2.3	56	27	45%	3.8	65
高梁・新見	0	0%	0	37	3	5%	4.8	72
真庭	0	0%	0	37	0	0%	0	36
津山・英田	3	7%	1.6	51	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 33-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
岡山県	20,431	1.8%	1,063	57	16,861	1.8%	877	57	3,571	1.8%	186	54
県南東部	10,394	51%	1,127	59	8,637	51%	937	59	1,757	49%	191	55
県南西部	7,109	35%	1,005	54	5,959	35%	842	55	1,151	32%	163	51
高梁・新見	579	3%	922	52	471	3%	751	51	108	3%	172	52
真庭	480	2%	1,021	55	387	2%	823	54	93	3%	198	56
津山・英田	1,869	9%	1,025	55	1,407	8%	771	52	462	13%	253	63
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 33-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
岡山県	2,420	1.9%	126	55	3,937	1.4%	205	48
県南東部	1,113	46%	121	54	2,251	57%	244	52
県南西部	982	41%	139	57	1,194	30%	169	44
高梁・新見	78	3%	124	55	105	3%	167	43
真庭	51	2%	108	52	70	2%	149	41
津山・英田	197	8%	108	52	317	8%	174	44
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 33-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
岡山県	273	2.1%	1.0	54	34	2.8%	0.1	58	158	1.5%	0.6	47
県南東部	164	60%	1.4	63	13	38%	0.1	56	79	50%	0.7	51
県南西部	65	24%	0.7	47	17	50%	0.2	67	46	29%	0.5	42
高梁・新見	6	2%	0.4	40	0	0%	0	38	6	4%	0.4	38
真庭	9	3%	0.9	52	1	3%	0.1	54	9	6%	0.9	62
津山・英田	29	11%	0.9	52	3	9%	0.1	53	18	11%	0.6	46
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 33-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア			介護保険施設定員(病床)数	全国シェア			高齢者住宅定員数	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
岡山県	31,163	1.9%	116	57	18,225	1.8%	68	55	12,938	1.9%	48	54
県南東部	14,531	47%	123	61	7,978	44%	67	55	6,553	51%	55	58
県南西部	10,589	34%	113	55	6,013	33%	64	52	4,576	35%	49	54
高梁・新見	1,352	4%	93	44	1,096	6%	75	61	256	2%	18	34
真庭	1,008	3%	100	48	804	4%	80	65	204	2%	20	36
津山・英田	3,683	12%	115	56	2,334	13%	73	59	1,349	10%	42	50
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 33-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア			特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア			介護療養病床数	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
岡山県	6,540	1.8%	24	53	10,916	1.9%	41	56	769	1.2%	2.9	47
県南東部	2,935	45%	25	54	4,858	45%	41	56	185	24%	1.6	44
県南西部	2,379	36%	25	55	3,229	30%	34	49	405	53%	4.3	51
高梁・新見	320	5%	22	49	744	7%	51	67	32	4%	2.2	46
真庭	220	3%	22	49	549	5%	54	70	35	5%	3.5	49
津山・英田	686	10%	21	48	1,536	14%	48	63	112	15%	3.5	49
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 33-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア			軽費ホーム	全国シェア			グループホーム	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
岡山県	3,586	1.6%	13.3	49	946	4.1%	3.5	60	4,998	2.6%	18.6	61
県南東部	1,739	48%	14.7	50	453	48%	3.8	61	2,157	43%	18.2	61
県南西部	1,543	43%	16.5	52	190	20%	2.0	53	1,833	37%	19.5	63
高梁・新見	28	1%	1.9	39	30	3%	2.1	53	198	4%	13.6	53
真庭	0	0%	0	37	60	6%	5.9	71	144	3%	14.2	54
津山・英田	276	8%	8.6	45	213	23%	6.6	75	666	13%	20.7	65
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 33-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岡山県	3,408	1.5%	12.7	48	140	0.9%	0.5	47	3,268	1.5%	12.1	48
県南東部	2,204	65%	18.6	56	90	64%	0.8	49	2,114	65%	17.8	56
県南西部	1,010	30%	10.8	45	50	36%	0.5	47	960	29%	10.2	45
高梁・新見	0	0%	0	30	0	0%	0	44	0	0%	0	30
真庭	0	0%	0	30	0	0%	0	44	0	0%	0	30
津山・英田	194	6%	6.0	38	0	0%	0	44	194	6%	6.0	39
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 33-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岡山県	2,901	1.8%	10.8	52	2,234	1.9%	8.3	54	667	1.4%	2.5	46
県南東部	1,228	42%	10.4	50	915	41%	7.7	52	314	47%	2.6	48
県南西部	1,022	35%	10.9	53	787	35%	8.4	55	234	35%	2.5	46
高梁・新見	118	4%	8.1	41	94	4%	6.4	45	25	4%	1.7	38
真庭	149	5%	14.8	69	118	5%	11.6	71	32	5%	3.1	53
津山・英田	383	13%	11.9	57	321	14%	10.0	63	62	9%	1.9	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 33-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岡山県	27,944	1.9%	104	61	25,139	2.0%	93	65	2,806	1.3%	10.4	44
県南東部	12,834	46%	108	64	11,359	45%	96	67	1,475	53%	12.4	47
県南西部	9,362	34%	100	58	8,426	34%	90	62	936	33%	10.0	43
高梁・新見	1,398	5%	96	55	1,331	5%	92	63	68	2%	4.7	34
真庭	1,002	4%	99	57	952	4%	94	65	51	2%	5.0	34
津山・英田	3,347	12%	104	61	3,071	12%	95	67	276	10%	8.6	41
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 33-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
岡山県	20,414	1.9%	76	53	6,498	1.4%	24	47	20,428	1.4%	76	45
県南東部	10,706	52%	90	58	3,011	46%	25	48	10,677	52%	90	49
県南西部	5,569	27%	59	48	2,510	39%	27	49	6,516	32%	69	43
高梁・新見	526	3%	36	40	236	4%	16	40	684	3%	47	36
真庭	508	2%	50	45	258	4%	26	48	375	2%	37	33
津山・英田	3,105	15%	97	60	483	7%	15	39	2,176	11%	68	42
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 33-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
岡山県		1,957,264	1,921,525	-2%	1,811,274	-7%	8%	4%	12%
県南東部	地方都市型	916,674	921,940	1%	879,061	-4%	11%	4%	16%
県南西部	地方都市型	714,121	707,450	-1%	674,085	-6%	10%	7%	17%
高梁・新見	過疎地域型	74,872	62,733	-16%	53,920	-28%	-8%	-8%	-16%
真庭	過疎地域型	52,801	46,990	-11%	41,059	-22%	-3%	-6%	-9%
津山・英田	過疎地域型	198,796	182,412	-8%	163,149	-18%	-1%	-4%	-4%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 33-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
岡山県	185	9.5	56	167	8.7	55	-18	-10%	147
県南東部	86	9.4	56	78	8.5	54	-8	-9%	69
県南西部	62	8.7	54	55	7.8	53	-7	-11%	47
高梁・新見	9	12.0	63	9	14.3	69	0	0%	9
真庭	8	15.2	71	7	14.9	70	-1	-13%	6
津山・英田	20	10.1	58	18	9.9	58	-2	-10%	16
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 33-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
岡山県	1,624	83	53	1,653	86	54	29	2%	1,684
県南東部	836	91	58	868	94	58	32	4%	903
県南西部	496	69	47	510	72	46	14	3%	525
高梁・新見	70	93	59	66	105	64	-4	-6%	62
真庭	50	95	59	44	94	58	-6	-12%	37
津山・英田	172	87	55	165	90	56	-7	-4%	157
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 33-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
岡山県	5,051	258	56	5,760	300	56	709	14%	6,541
県南東部	2,685	293	60	3,190	346	61	505	19%	3,746
県南西部	1,817	254	55	2,012	284	54	195	11%	2,227
高梁・新見	116	155	43	99	158	41	-17	-15%	80
真庭	96	182	46	76	162	41	-20	-21%	54
津山・英田	337	170	45	383	210	46	46	14%	434
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 33-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
岡山県	34,944	179	57	31,601	164	56	-3,343	-10%	27,925
県南東部	17,438	190	59	16,039	174	57	-1,399	-8%	14,500
県南西部	11,772	165	54	10,659	151	53	-1,113	-9%	9,435
高梁・新見	1,240	166	54	1,086	173	57	-154	-12%	917
真庭	1,164	220	64	929	198	62	-235	-20%	671
津山・英田	3,330	168	55	2,888	158	55	-442	-13%	2,402
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 33-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
岡山県	22,540	115	61	20,463	106	60	-2,077	-9%	18,179	100
県南東部	11,709	128	66	10,829	117	64	-880	-8%	9,861	112
県南西部	7,785	109	59	7,194	102	59	-591	-8%	6,544	97
高梁・新見	549	73	46	486	77	50	-63	-11%	417	77
真庭	678	128	66	503	107	61	-175	-26%	311	76
津山・英田	1,819	92	53	1,451	80	50	-368	-20%	1,046	64
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 33-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
岡山県	6,112	29	48	5,273	20	49	-839	-14%	4,350	13
県南東部	2,213	24	46	1,859	16	45	-354	-16%	1,470	9
県南西部	2,412	34	51	2,035	22	51	-377	-16%	1,620	13
高梁・新見	390	29	48	360	25	53	-30	-8%	327	23
真庭	266	29	48	226	22	51	-40	-15%	182	18
津山・英田	831	29	48	793	25	53	-38	-5%	751	22
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 33-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
岡山県	982	54	1.056	506	55	1.095	443	50	1.018
県南東部	1,015	57	1.097	514	56	1.120	464	55	1.071
県南西部	970	53	1.046	506	55	1.101	431	47	0.989
高梁・新見	911	48	0.969	502	54	1.049	384	36	0.892
真庭	879	46	0.926	463	50	0.967	394	39	0.898
津山・英田	967	53	1.019	494	53	1.032	446	51	1.016
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

33-1. けんなんとうぶ 県南東部医療圏

構成市区町村⁹

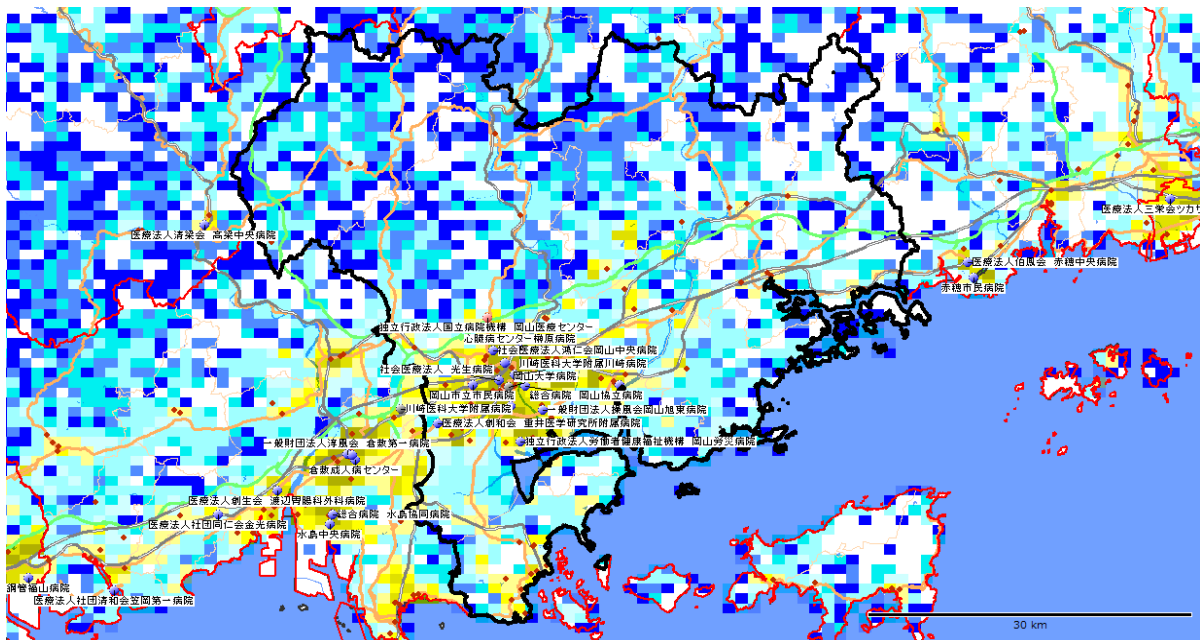
北区
玉野市
和気町

中区
備前市
吉備中央町

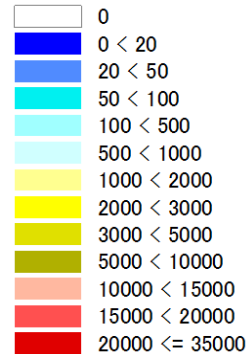
東区
瀬戸内市

南区
赤磐市

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I 群
- II 群
- III 群
- 一般病院

(県南東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県南東部(岡山市北区)は、総人口約922千人(2015年)、面積1900km²、人口密度は485人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県南東部の総人口は2025年に879千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に797千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の119千人が、2025年にかけて157千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には153千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県南東部の一人当たり医療費(国保)は397千円(偏差値62)、介護給付費は280千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県南東部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.51、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.14で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が60(病院医師数60、診療所医師数58)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。県南東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岡山赤十字病院(Ⅱ群・救命)、岡山済生会総合病院(Ⅲ群)、国立病院機構岡山医療センター(Ⅱ群)、岡山大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の岡山労災病院(Ⅲ群)、川崎医科大学附属川崎病院(Ⅲ群)、500例以上の岡山市立市民病院(Ⅲ群)、心臓病センター榊原病院(Ⅲ群)、岡山中央病院(Ⅲ群)、岡山旭東病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県南東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、14531人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が7978床(偏差値55)、高齢者住宅等が6553床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11359人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム50、軽費ホーム61、グループホーム61、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値63と多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1475人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(県南東部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県南東部医療圏の総人口は、2005年916674人が、2015年に921940人と1%増加し、2025年の人口が879061人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

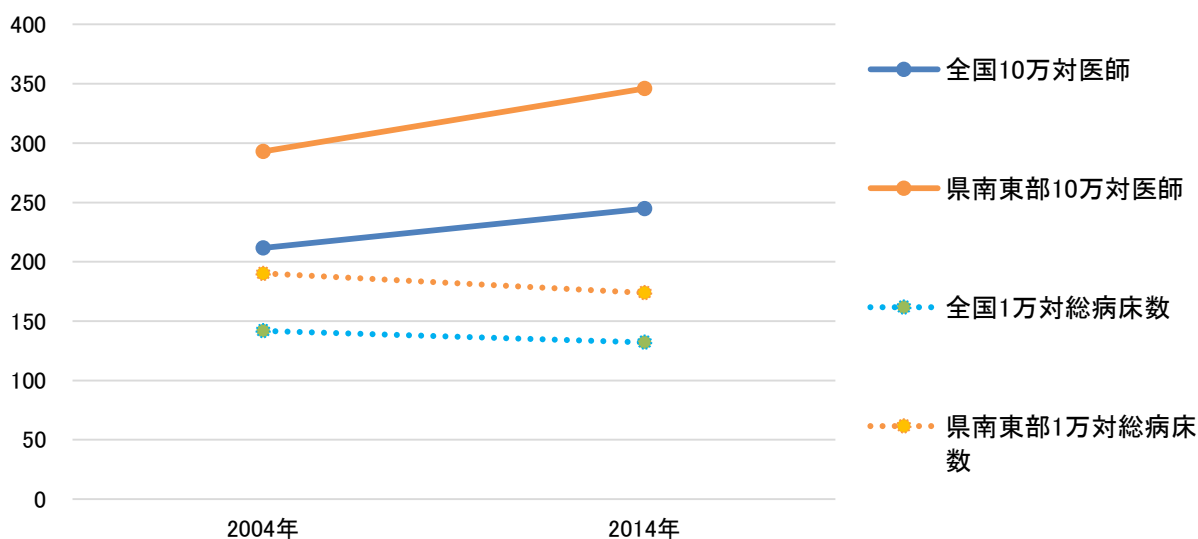
2004年の病院数が86(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に78(人口10万人当たり8.5病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が836(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に868(人口10万人当たり94診療所(全国平均79)偏差値58)と、32診療所が増加した。

2004年の総病床数が17438床(人口1万人当たり190(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に16039床(人口1万人当たり174(全国平均132)偏差値57)と、1399床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

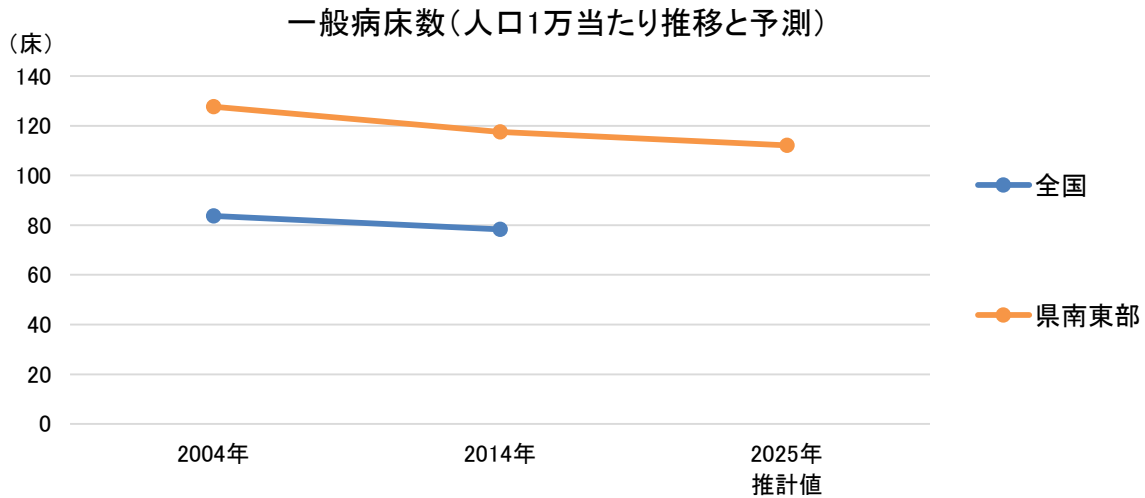
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2685人(人口10万人当たり293人(全国平均212人)偏差値60)であったが、2014年に3190人(人口10万人当たり346人(全国平均245人)偏差値61)と、505人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



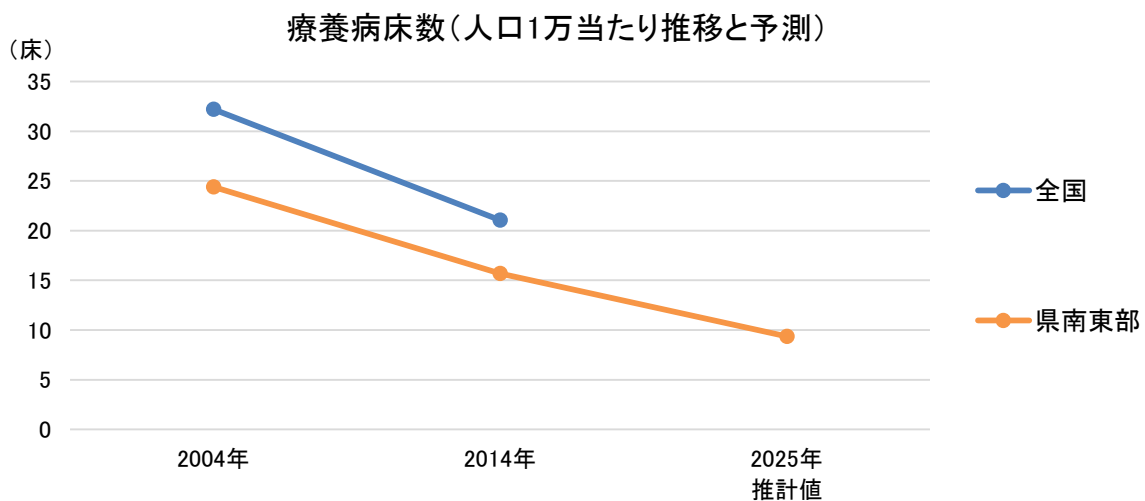
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11709床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に10829床(人口1万人当たり117(全国平均78)偏差値64)と、880床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9861床(2025年の推計人口1万人当たり112)になることが予想される。



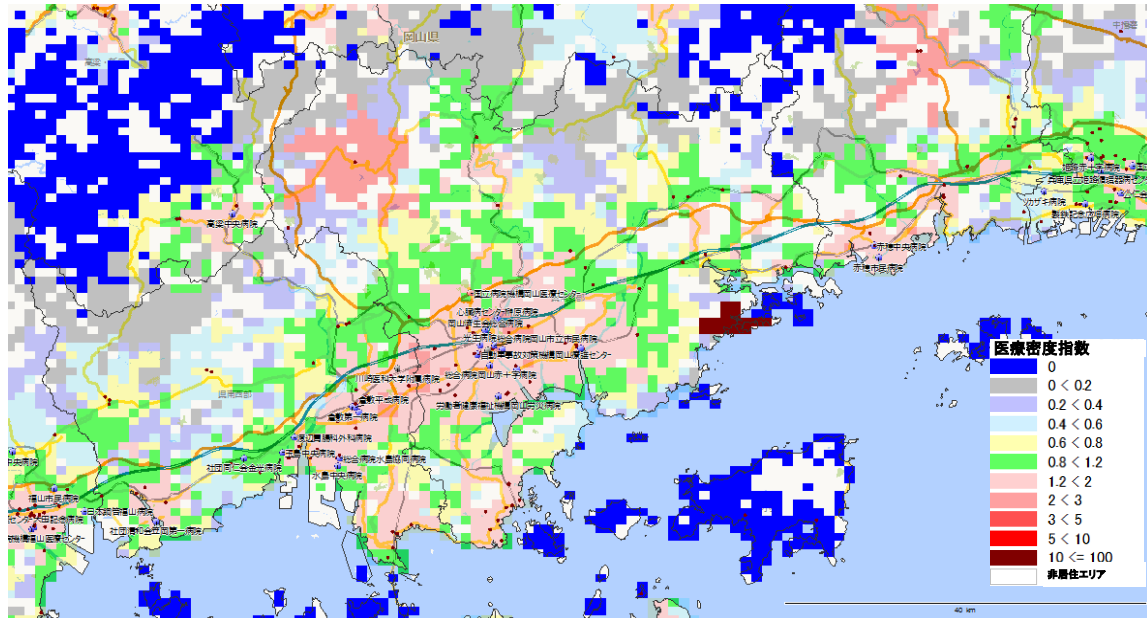
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2213床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に1859床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値45)と、354床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1470床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。



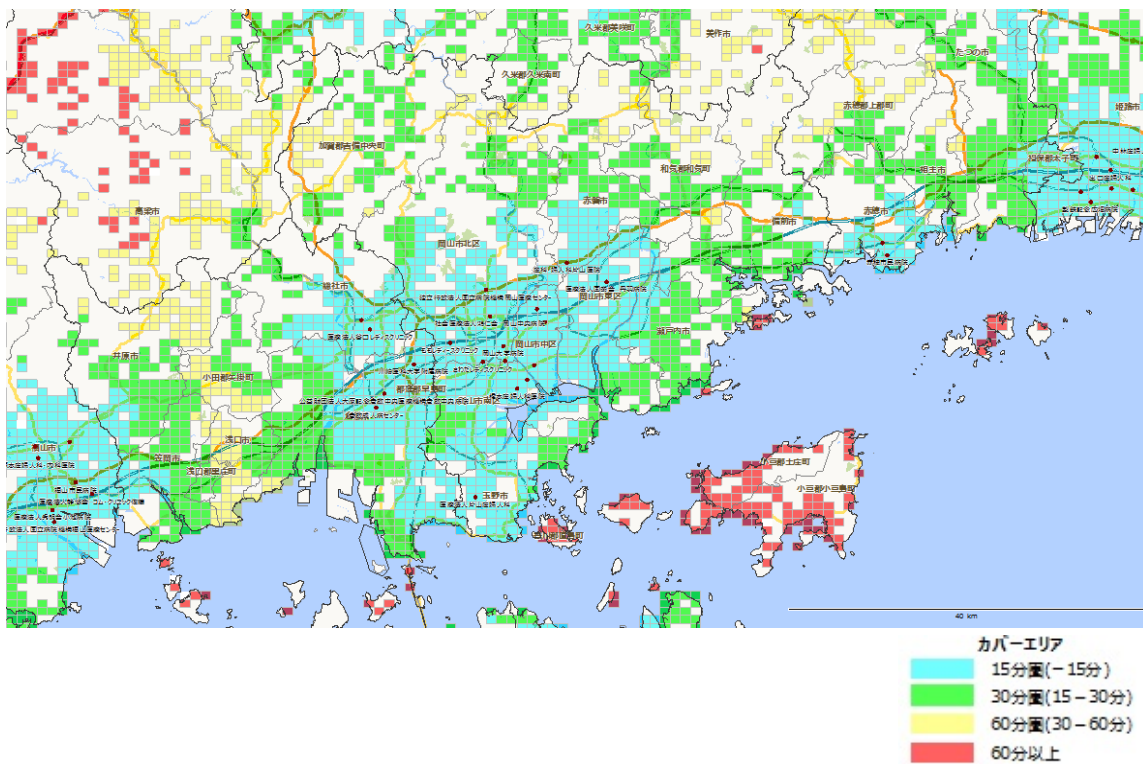
(県南東部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表33-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表33-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



33-2. けんなんせいぶ 県南西部医療圏

構成市区町村⁹

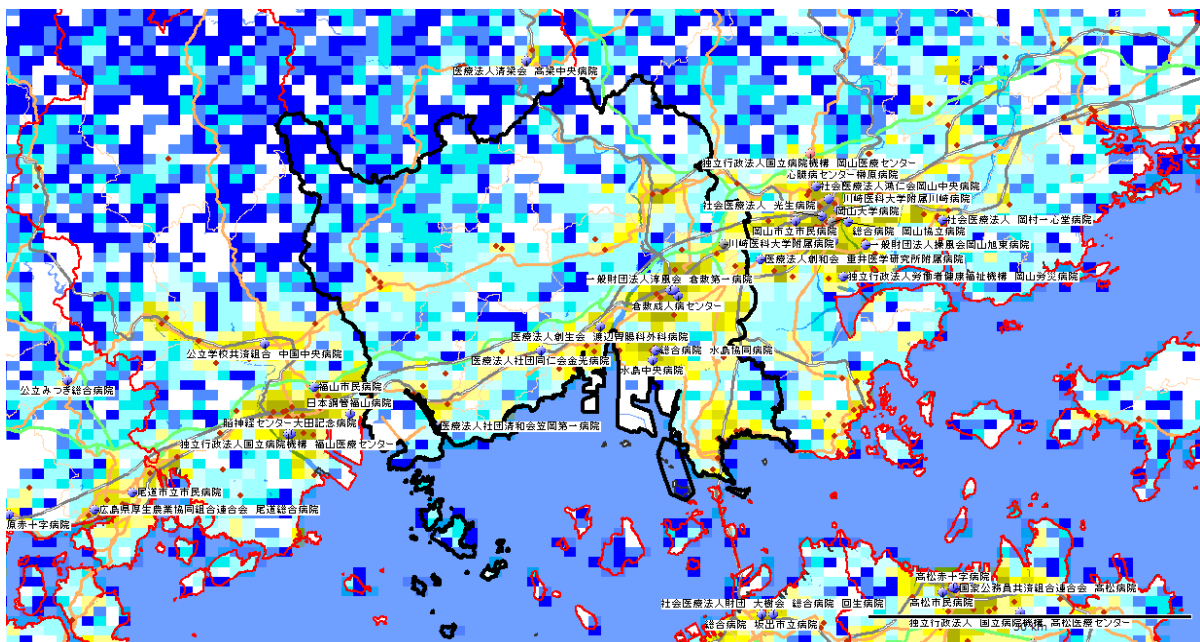
倉敷市
浅口市

笠岡市
早島町

井原市
里庄町

総社市
矢掛町

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(県南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県南西部(倉敷市)は、総人口約707千人(2015年)、面積1124km²、人口密度は629人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県南西部の総人口は2025年に674千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に603千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の94千人が、2025年にかけて130千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には121千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県南西部の一人当たり医療費(国保)は394千円(偏差値61)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県南西部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.17、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.03で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が54(病院医師数57、診療所医師数47)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。県南西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の倉敷成人病センター(Ⅲ群)、川崎医科大学附属病院(Ⅰ群・救命)、倉敷中央病院(Ⅱ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10589人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が6013床(偏差値52)、高齢者住宅等が4576床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8426人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム52、軽費ホーム53、グループホーム63、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、936人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(県南西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県南西部医療圏の総人口は、2005年714121人が、2015年に707450人と1%減少し、2025年の人口が674085人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

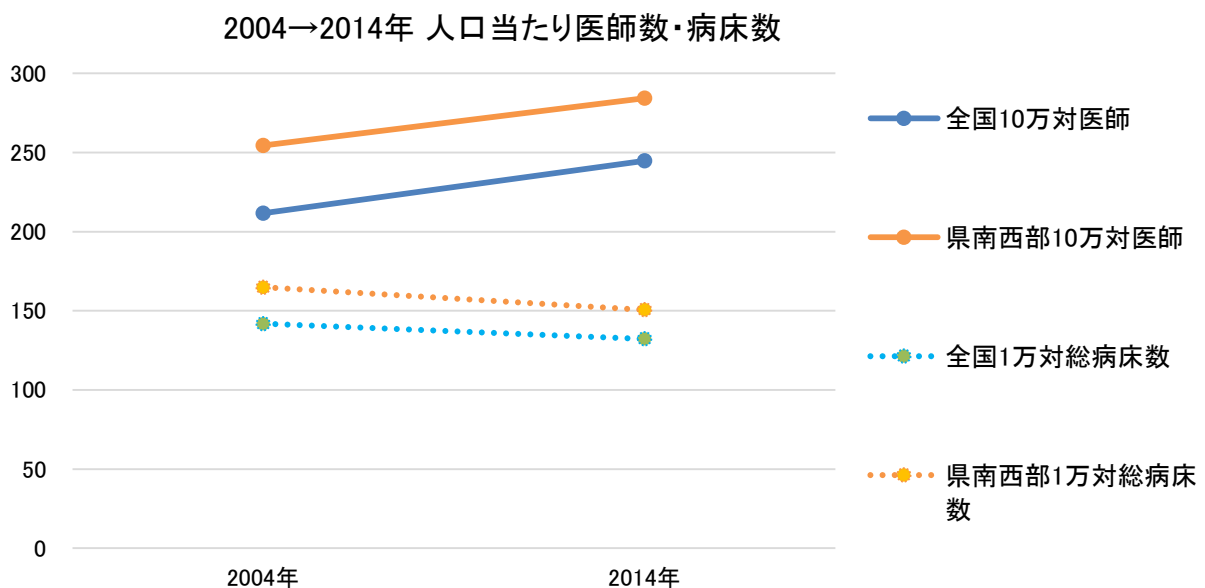
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が62(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に55(人口10万人当たり7.8病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が496(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に510(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、14診療所が増加した。

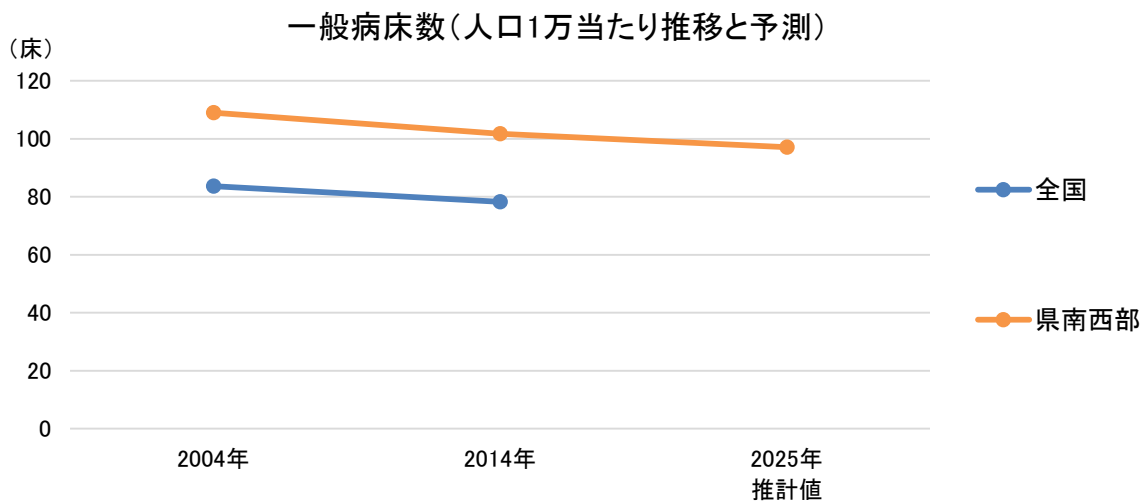
2004年の総病床数が11772床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に10659床(人口1万人当たり151(全国平均132)偏差値53)と、1113床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1817人(人口10万人当たり254人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2014年に2012人(人口10万人当たり284人(全国平均245人)偏差値54)と、195人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



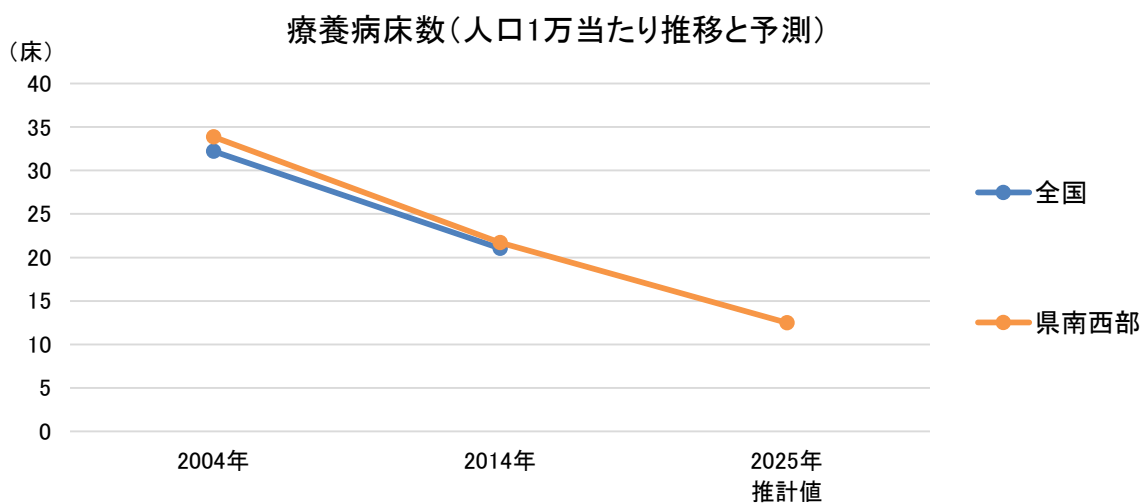
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7785床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に7194床(人口1万人当たり102(全国平均78)偏差値59)と、591床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6544床(2025年の推計人口1万人当たり97)になることが予想される。



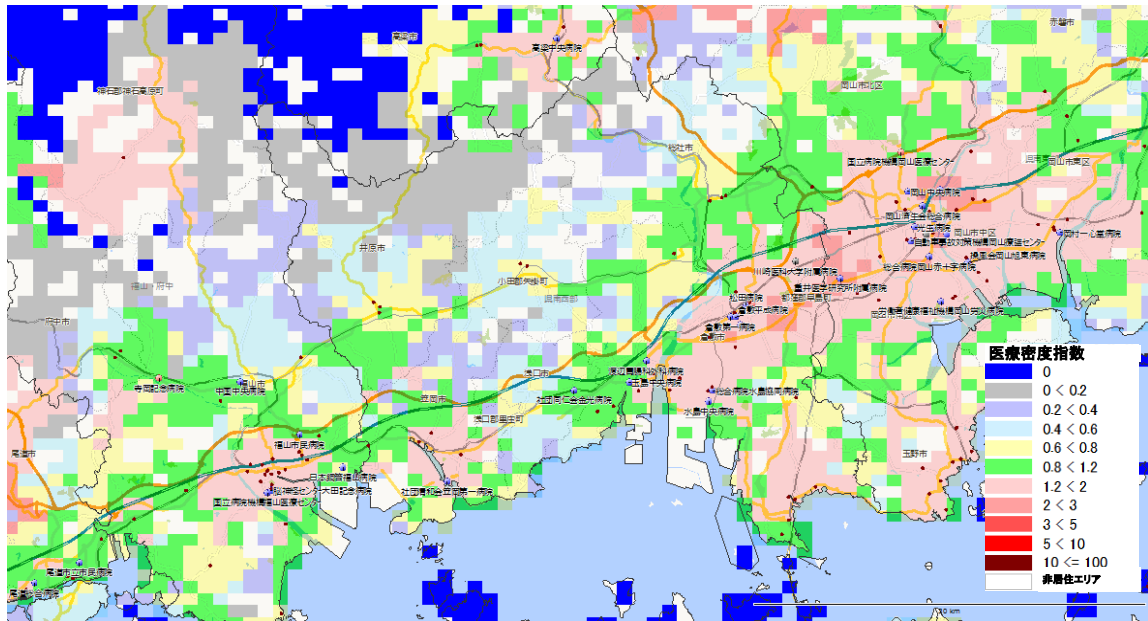
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2412床(75歳以上1000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に2035床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、377床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1620床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



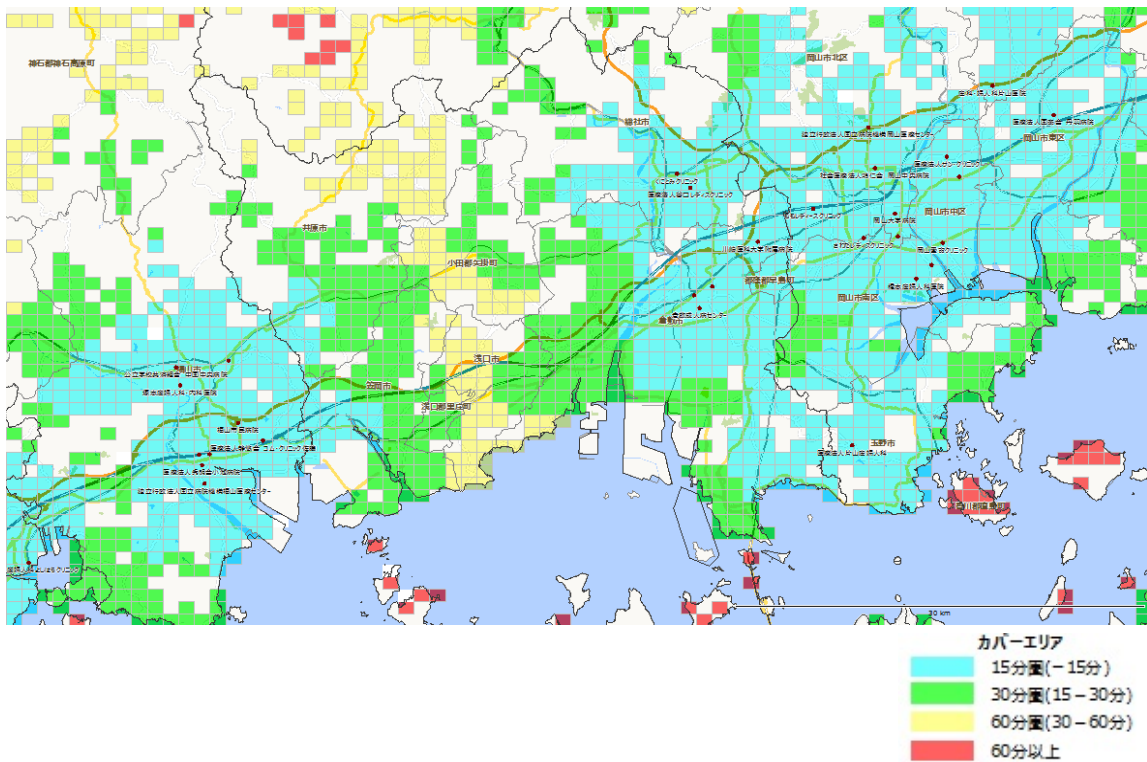
(県南西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表33-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表33-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

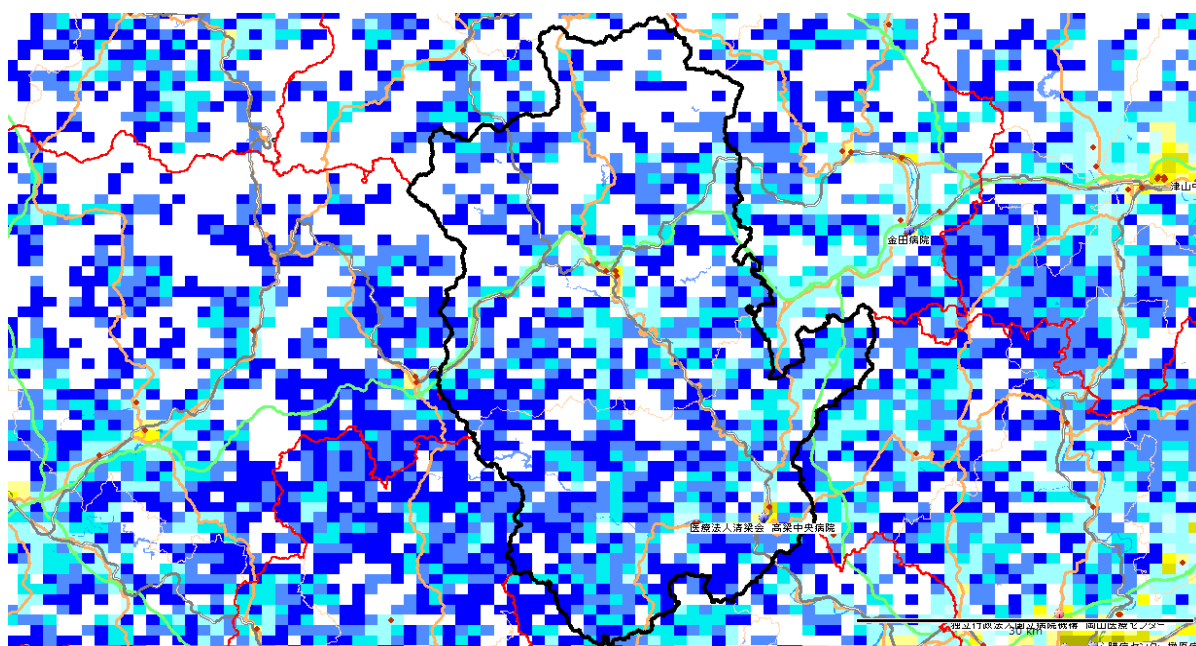
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



33-3. たかはし にいみ 高梁・新見医療圏

構成市区町村⁹ [高梁市](#) [新見市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(高梁・新見医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 高梁・新見(高梁市)は、総人口約63千人(2015年)、面積1340km²、人口密度は47人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 高梁・新見の総人口は2025年に54千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に42千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて14千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 高梁・新見の一人当たり医療費(国保)は456千円(偏差値75)、介護給付費は312千円(偏差値67)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 高梁・新見の一人当たり急性期医療密度指数²は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.62で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が43(病院医師数43、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は31と非常に少ない。高梁・新見には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は64と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 高梁・新見の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1352人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1096床(偏差値61)、高齢者住宅等が256床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1331人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム67、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム39、軽費ホーム53、グループホーム53、サ高住なし(偏差値30)である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、68人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は+15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(高梁・新見医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

高梁・新見医療圏の総人口は、2005年74872人が、2015年に62733人と16%減少し、2025年の人口が53920人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

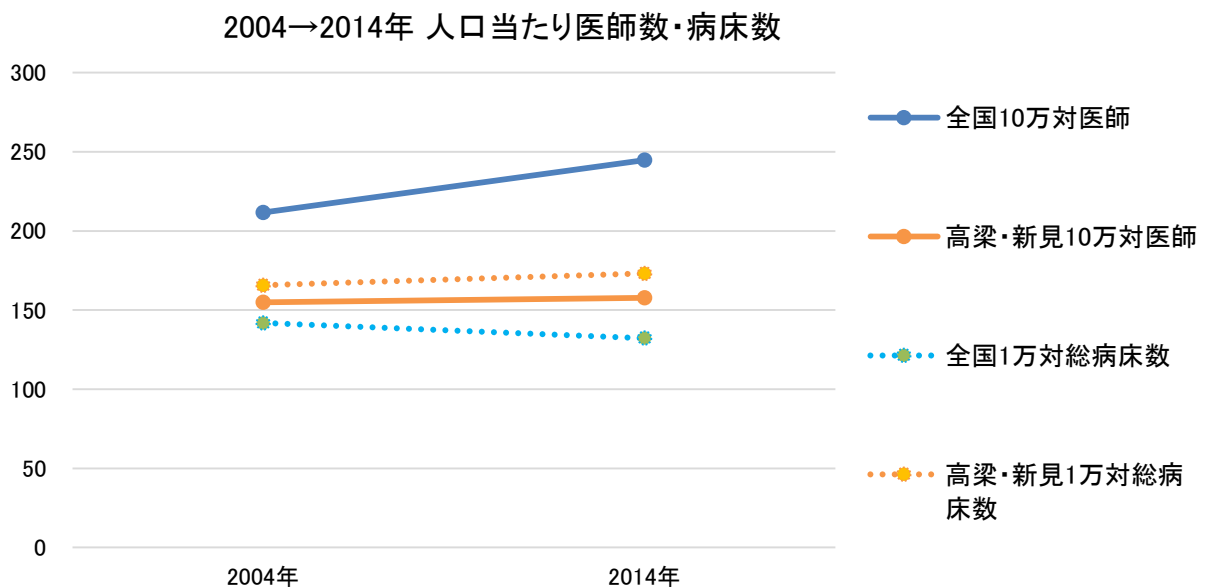
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり12病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に9(人口10万人当たり14.3病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が70(人口10万人当たり93診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に66(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値64)と、4診療所が減少した。

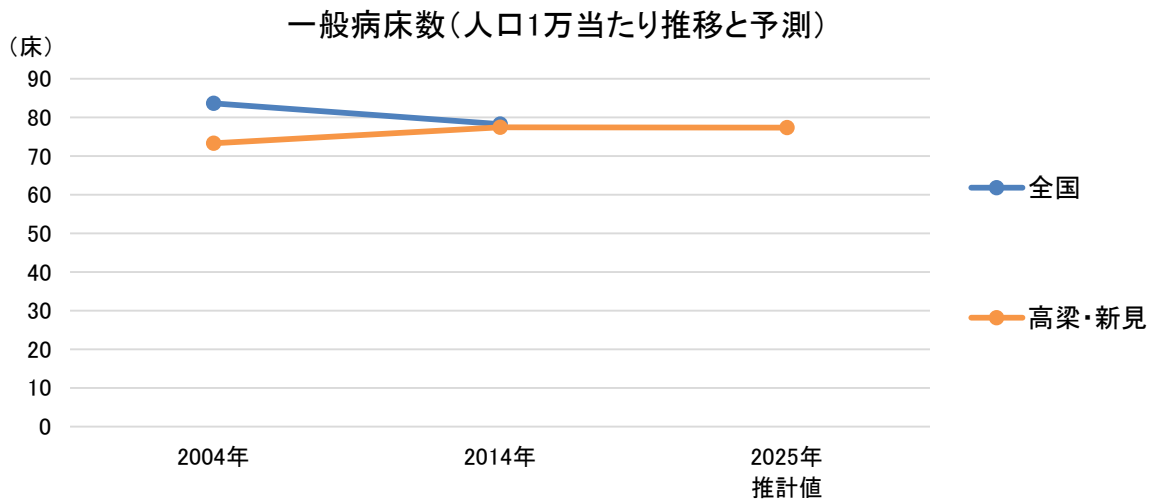
2004年の総病床数が1240床(人口1万人当たり166(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に1086床(人口1万人当たり173(全国平均132)偏差値57)と、154床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が116人(人口10万人当たり155人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に99人(人口10万人当たり158人(全国平均245人)偏差値41)と、17人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



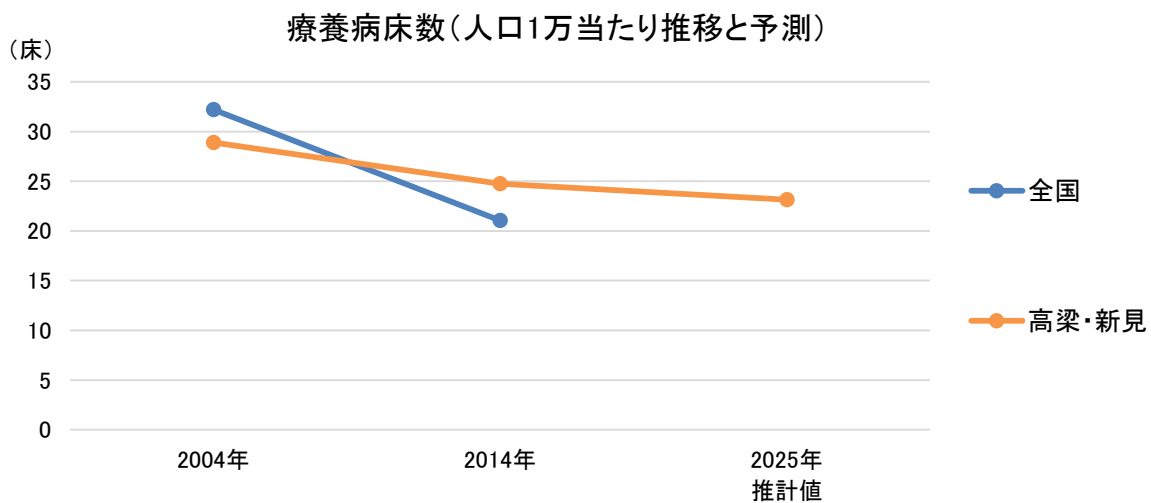
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が549床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に486床(人口1万人当たり77(全国平均78)偏差値50)と、63床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には417床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



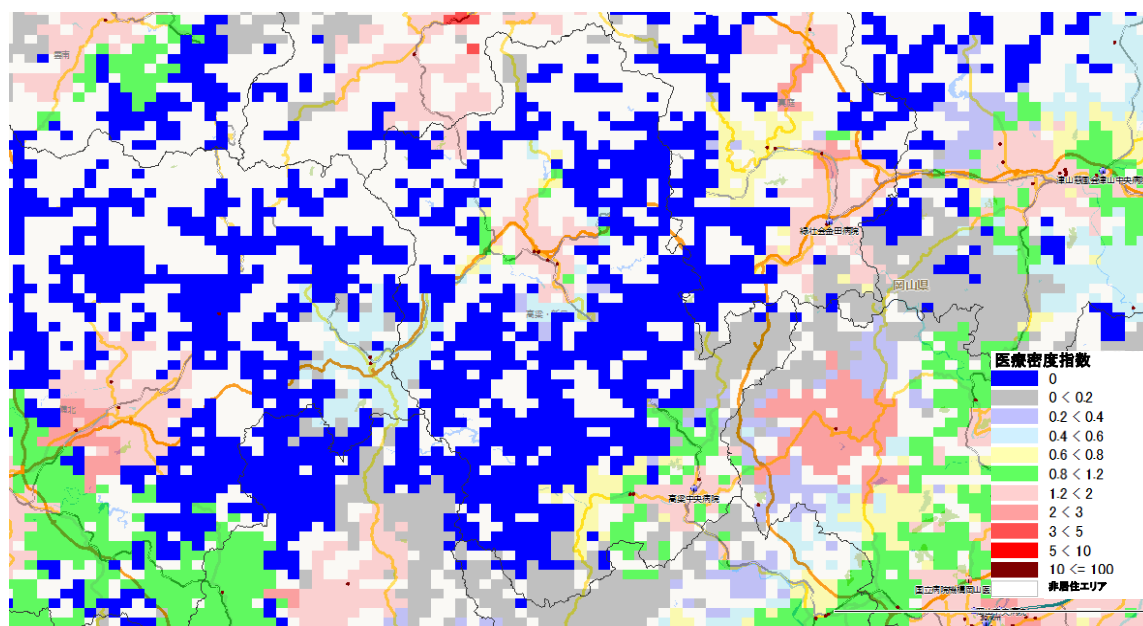
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が390床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に360床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値53)と、30床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には327床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。



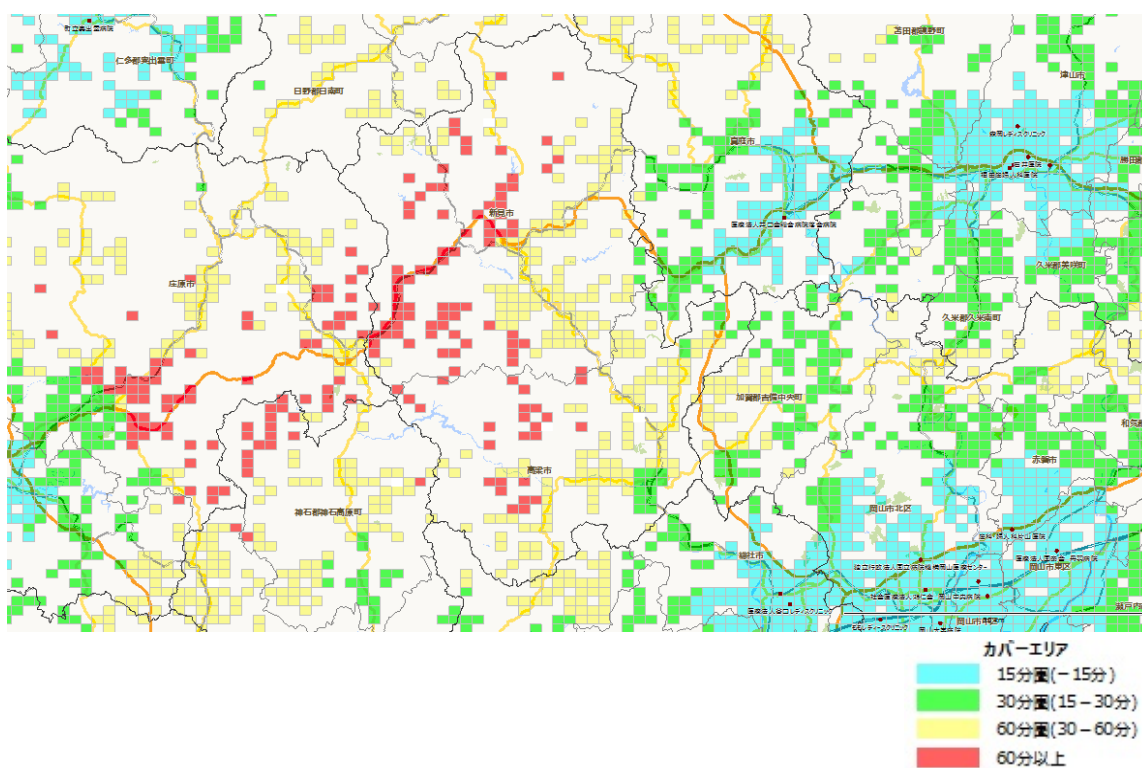
(高梁・新見医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表33-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表33-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

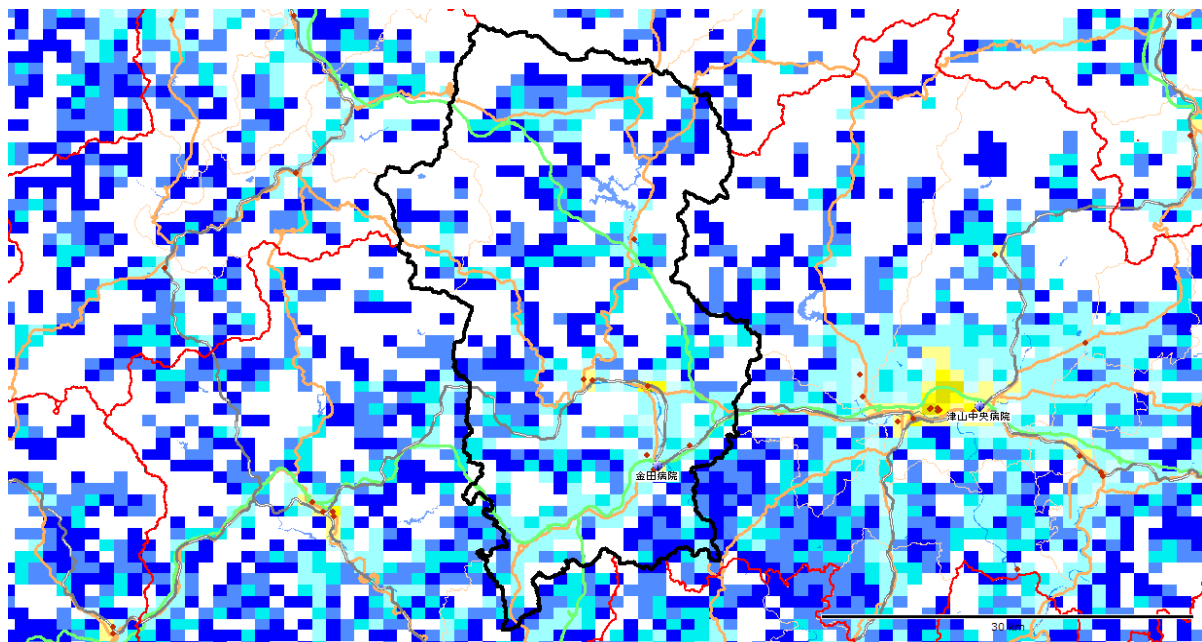
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



33-4. まにわ 真庭医療圏

構成市区町村⁹ [真庭市](#) [新庄村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(真庭医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 真庭(真庭市)は、総人口約47千人(2015年)、面積896km²、人口密度は52人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 真庭の総人口は2025年に41千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に33千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて10千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には9千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 真庭の一人当たり医療費(国保)は388千円(偏差値60)、介護給付費は291千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 真庭の一人当たり急性期医療密度指数²は0.97、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.55で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。真庭には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 真庭の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1008人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が804床(偏差値65)、高齢者住宅等が204床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、952人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム70、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム71、グループホーム54、サ高住なし(偏差値30)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、51人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(真庭医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

真庭医療圏の総人口は、2005年52801人が、2015年に46990人と11%減少し、2025年の人口が41059人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

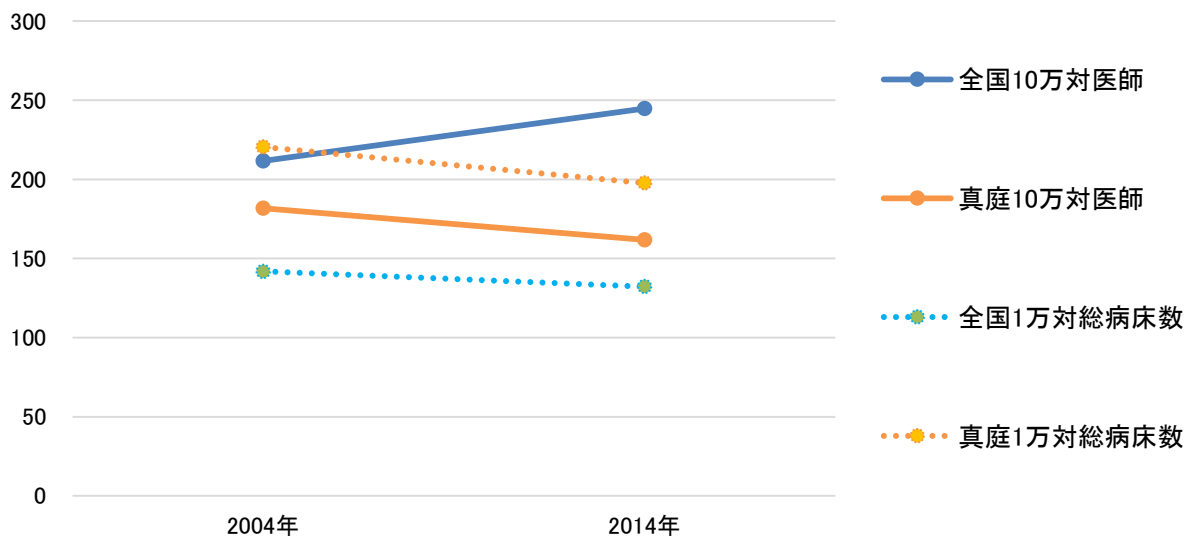
2004年の病院数が8(人口10万人当たり15.2病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2014年に7(人口10万人当たり14.9病院(全国平均6.7)偏差値70)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が50(人口10万人当たり95診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に44(人口10万人当たり94診療所(全国平均79)偏差値58)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が1164床(人口1万人当たり220(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に929床(人口1万人当たり198(全国平均132)偏差値62)と、235床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

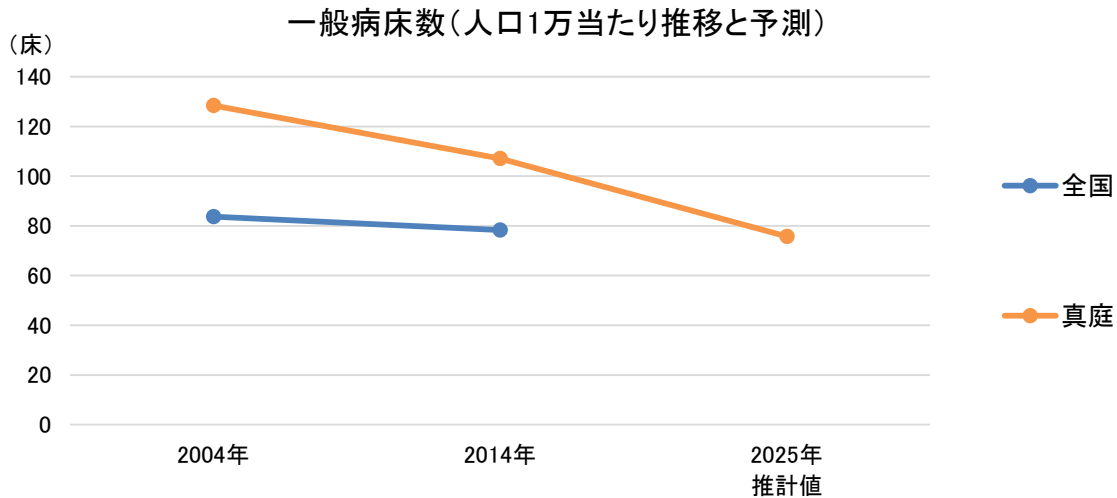
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が96人(人口10万人当たり182人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に76人(人口10万人当たり162人(全国平均245人)偏差値41)と、20人の減少、率にして21%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



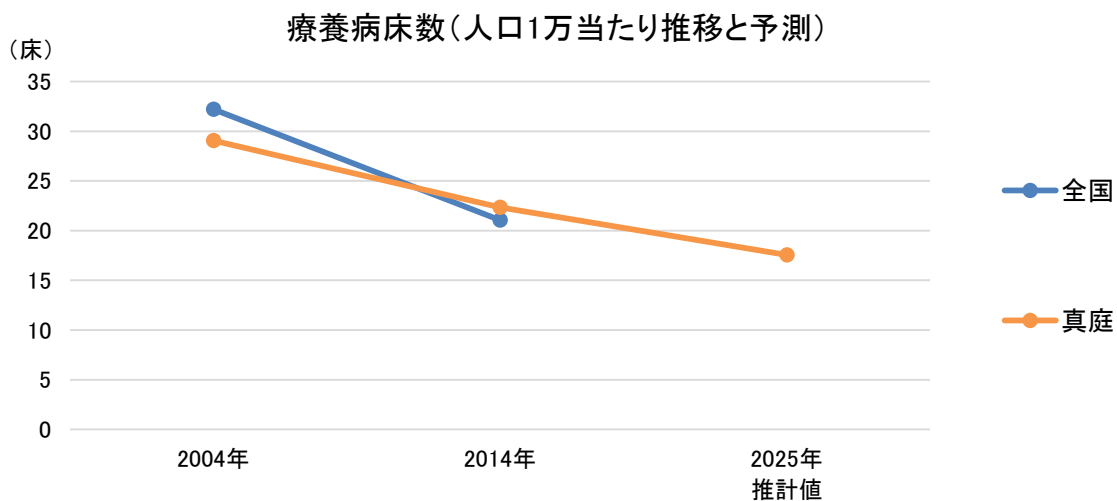
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が678床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に503床(人口1万人当たり107(全国平均78)偏差値61)と、175床の減少、率にして26%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には311床(2025年の推計人口1万人当たり76)になることが予想される。



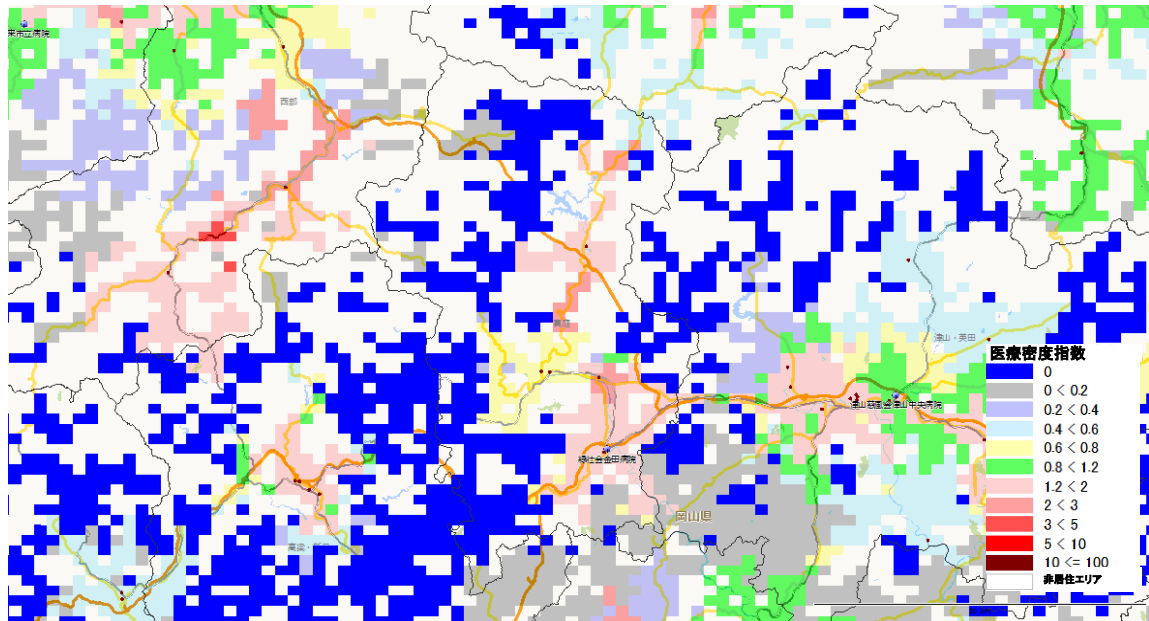
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が266床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に226床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、40床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には182床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。



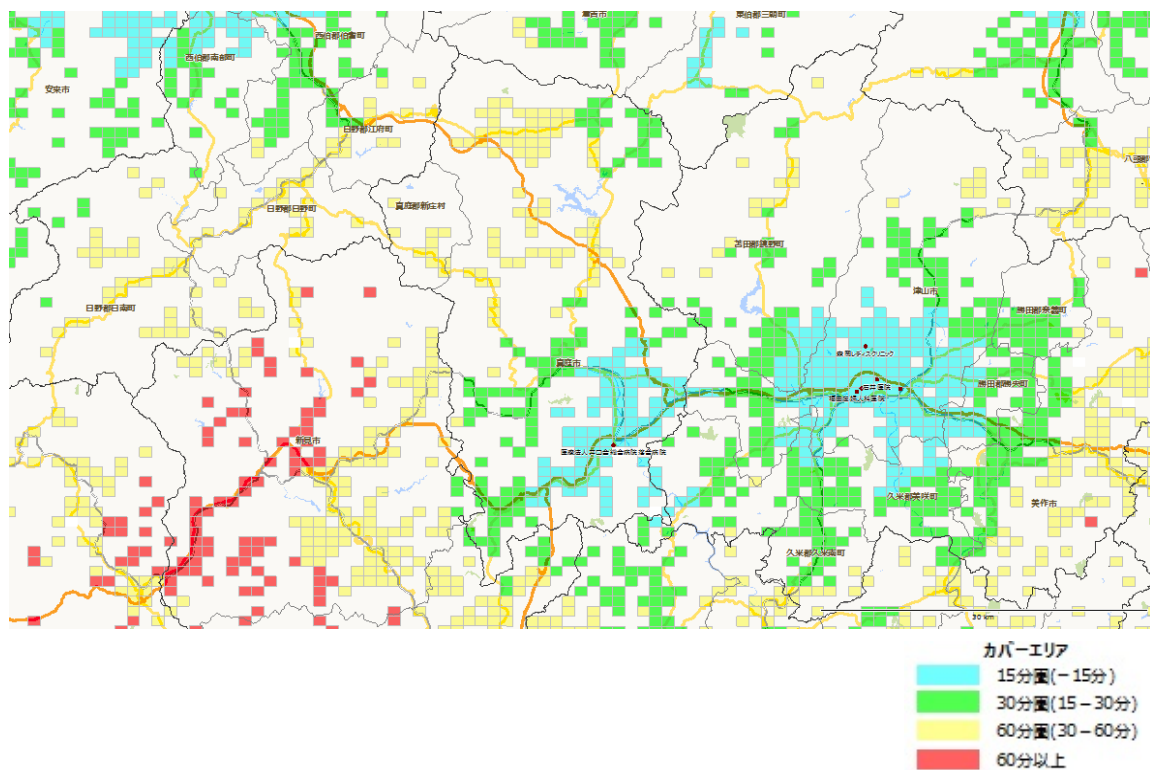
(真庭医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表33-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表33-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

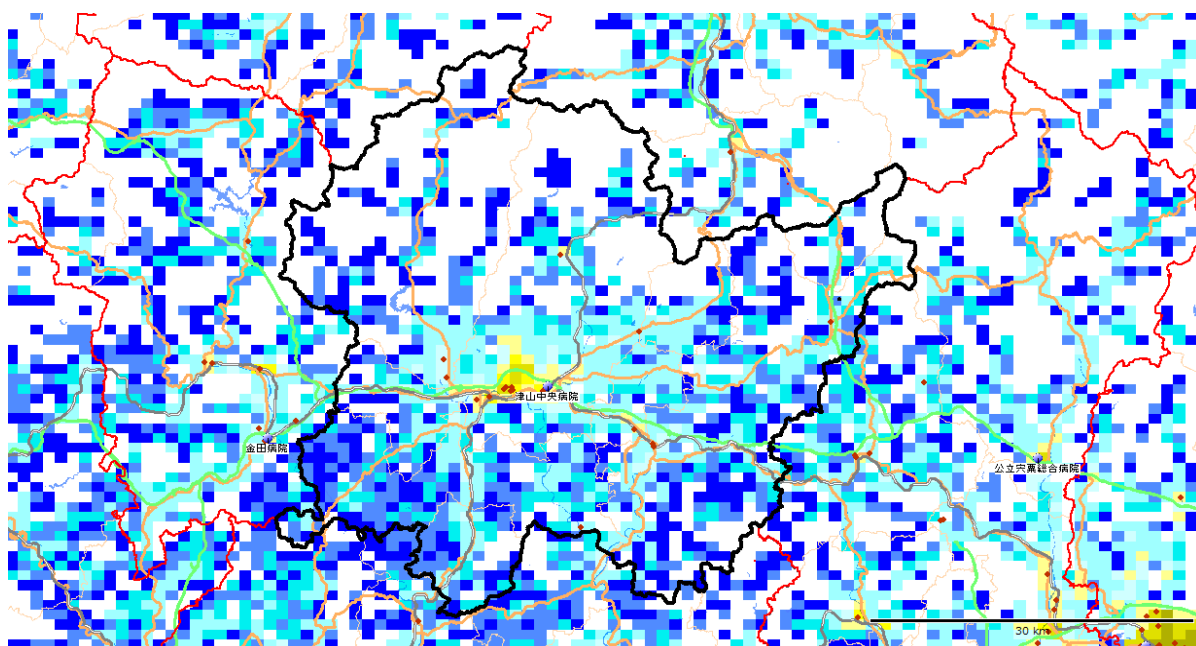
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



33-5. つやま あいだ 津山・英田医療圏

構成市区町村⁹ [津山市](#) [美作市](#) [鏡野町](#) [勝央町](#)
[奈義町](#) [西粟倉村](#) [久米南町](#) [美咲町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(津山・英田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 津山・英田(津山市)は、総人口約182千人(2015年)、面積1848km²、人口密度は99人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 津山・英田の総人口は2025年に163千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に136千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の32千人が、2025年にかけて35千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には32千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 津山・英田の一人当たり医療費(国保)は424千円(偏差値68)、介護給付費は312千円(偏差値67)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 津山・英田の一人当たり急性期医療密度指数²は0.89、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.4で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。津山・英田には、年間全身麻酔件数が1000例以上の津山中央病院(Ⅱ群・救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 津山・英田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3683人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2334床(偏差値59)、高齢者住宅等が1349床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3071人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム45、軽費ホーム75、グループホーム65、サ高住38である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、276人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は+19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(津山・英田医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

津山・英田医療圏の総人口は、2005年198796人が、2015年に182412人と8%減少し、2025年の人口が163149人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

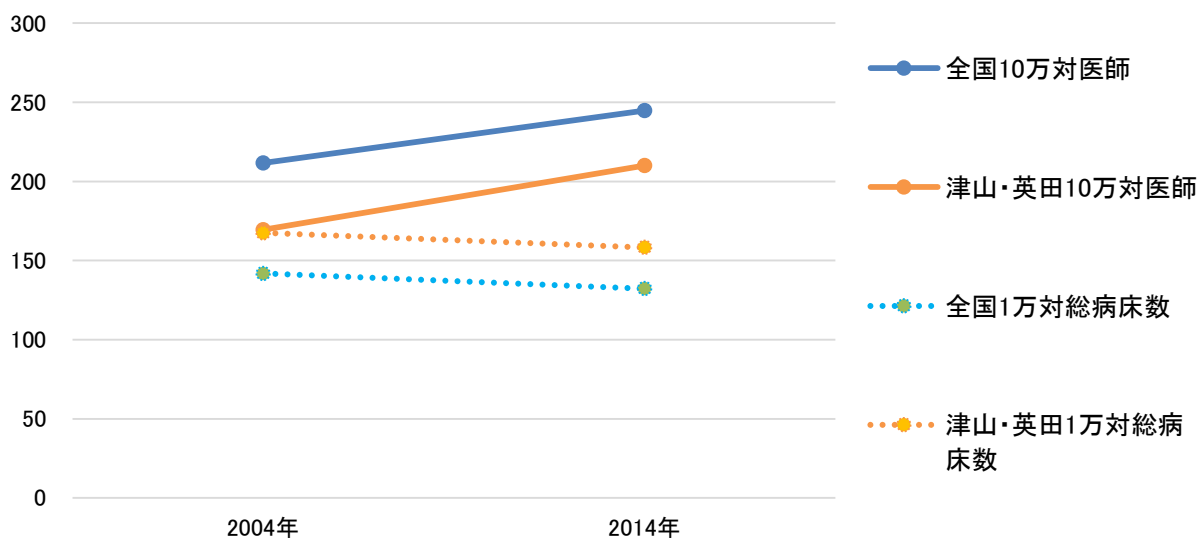
2004年の病院数が20(人口10万人当たり10.1病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に18(人口10万人当たり9.9病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が172(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に165(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が3330床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に2888床(人口1万人当たり158(全国平均132)偏差値55)と、442床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

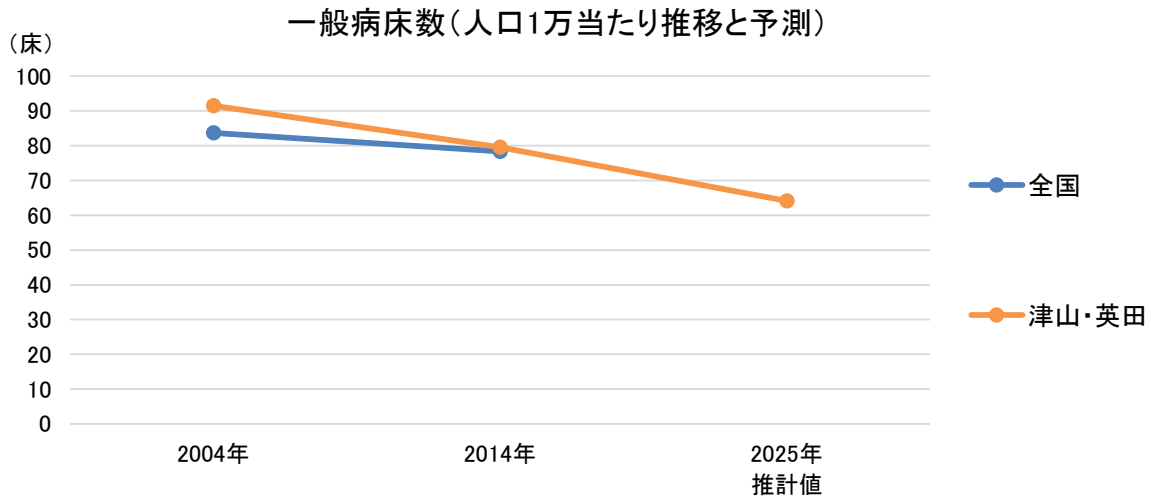
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が337人(人口10万人当たり170人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に383人(人口10万人当たり210人(全国平均245人)偏差値46)と、46人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



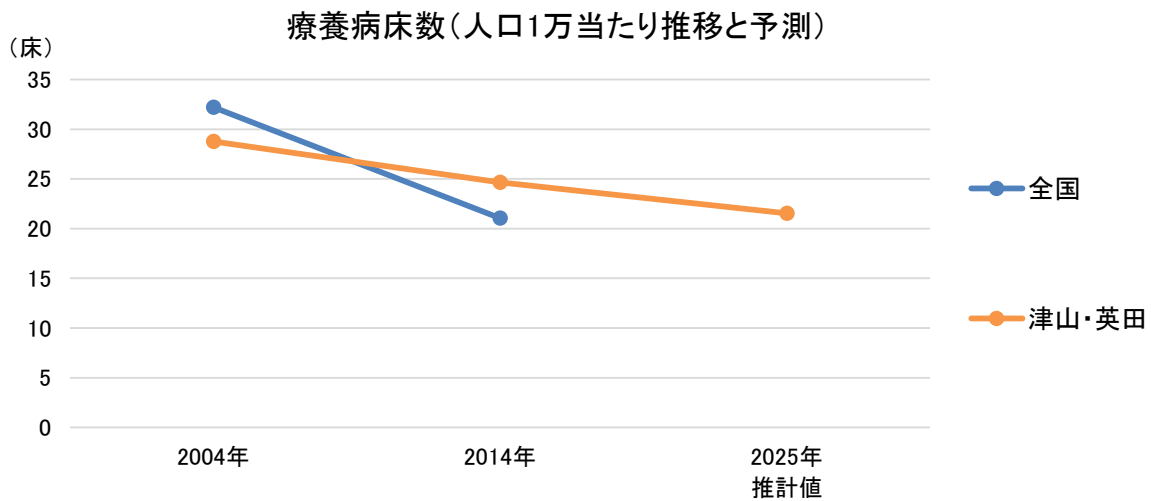
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1819床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に1451床(人口1万人当たり80(全国平均78)偏差値50)と、368床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1046床(2025年の推計人口1万人当たり64)になることが予想される。



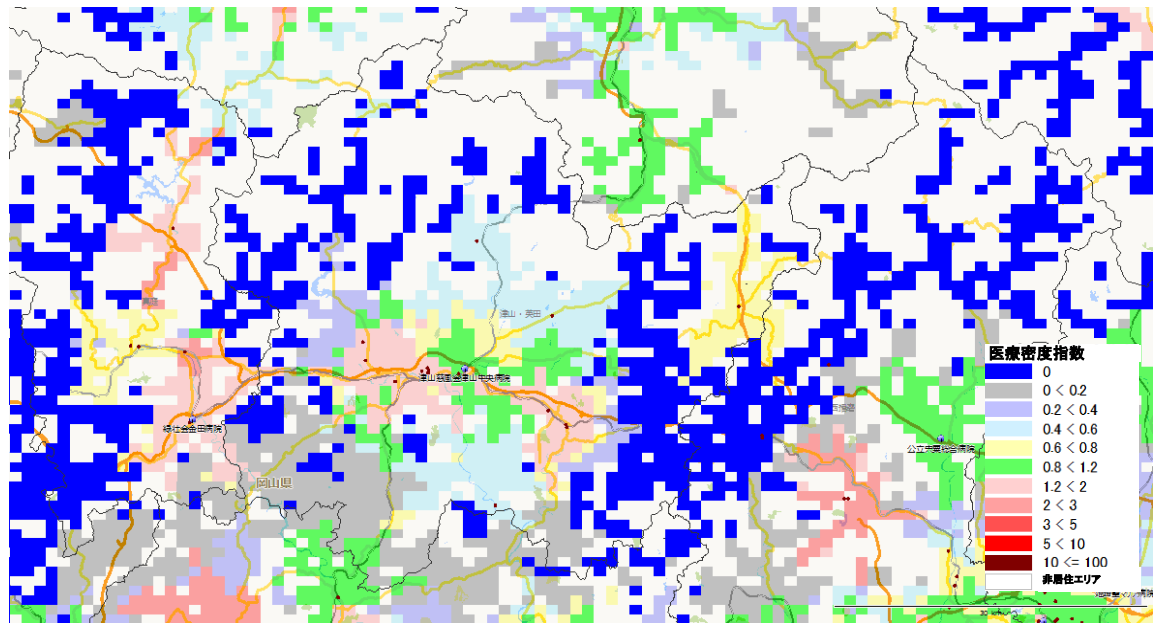
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が831床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に793床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値53)と、38床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には751床(2025年の推計75歳以上1000人当たり22)になることが予想される。



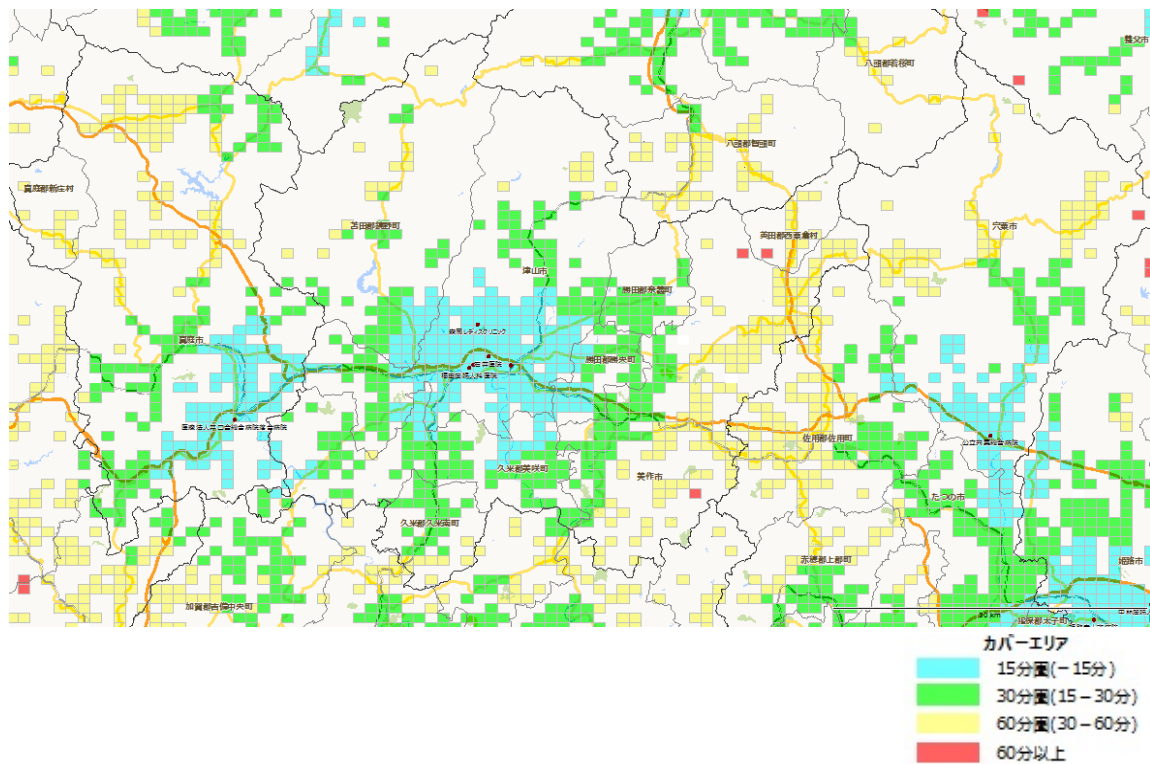
(津山・英田医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表33-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表33-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。